Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞
発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都千代田区三番町7-1　朝日三番町プラザ
Web　http://www.route-press21st.jp

◆道の駅を〝学びの場〟に～キャンペーン◆

豊かな国土を次世代へ

道の駅「ゆうひパーク浜田」は、地域伝統の石見神楽を定期的に上演。郷土芸能の伝承に力を入れている

「道の駅を〝学びの場〟に～キャンペーン」始動――。豊かな国土を次世代に引き継ぐことは、私たち世代の責務である。そのためには国土保全や防災、地理、地域の歴史や伝統文化、生物多様性、緑の重要性……など国土への関心を高めることが大切だ。国土交通省はじめ専門家や学識者らは「全国に1000近い道の駅こそ、学びの場に相応しい」と、防災フェアやミニイベントを、道の駅で順次全国展開する構想を練る。その第1回目が昨秋、島根県浜田市の道の駅「ゆうひパーク浜田」で開かれた。公共施設「道の駅」の新たな役割。「学びの場」への期待が膨らむ。＝2～3面に関連記事

地震、台風、ゲリラ豪雨……。日本はアジアモンスーン地帯にあり、太平洋プレートが沈み込む大陸の縁に位置する急峻な島国だ。このため自然災害の常襲は宿命とも言える。半面、南北に長い国土と温暖な気候、梅雨や台風による豊かな水は、四季織りなす美しい自然とみづほの恵みをもたらしてきた。この美しい国土は古来、人々の手で自然に働きかけることで育てられ、護られてきた。

少子高齢化が急速に進む日本。労働力の減少や輸入拡大で、農業は耕作放棄地が増え、林業は山林の荒廃が著しい。公共事業削減も手伝って、国土への働きかけが年々、先細っている。

こうした現状を認識し、国土のあり方を探るとき、重要なことは故郷を大切にする「郷土愛」ではないだろうか。郷土愛が将来の国土を考える原点になる。故郷を愛する心に裏付けられた国土への働きかけこそ、次世代に引き継ぐ価値ある遺産である。そのため、誰もが郷土を良く知ることが重要になる。

そこで持ち上がった構想が「道の駅を〝学びの場〟に～キャンペーン」だ。自分たちの故郷は、どんな地理的条件下にあり、どんな歴史を持っているか、地域の誇る伝統文化はどう継承されてきたか……。「学び」を通して、防災や環境への意識、農業や林業再生への関心も高まる。

道の駅は「休憩施設」「情報発信」「地域連携」の3つの機能を持つ公共施設として出発。中越地震などの災害時に発揮された「防災拠点」機能が加わり、国民に愛される重要施設に発展した。

そこに新たな「学びの場」機能が加わる。道の駅の建設・維持に関わった人や郷土史家、地域おこしグループなど、イベントに参加したり、ミニ講演の講師に適した人々がこぞって協力する。

道路関係団体や道の駅関係者は「道の駅を講習会などイベントの場、学びの場に活用し、みんなの力で機能を充実させたい」と話す。道の駅をネットワーク化して道の駅同士の情報交換を進め、道路利用者や住民に一層役立つ道の駅に進化させたいと意気込んでいる。

「道の駅を〝学びの場〟に～キャンペーン」はその一つの試みである。

◇　◇　◇

本紙はこの運動を応援し、推進に協力する。読者も自由なご意見、アイデアを寄せて欲しい。

全国で防災フェアやイベント開催

第31号 INDEX

1～3	特集「道の駅 新たな夜明け」
4/5	甦れ！　鎮守の森④
6	「わが国、国土のすがた」⑤
7	地域主体でPA開設
8/9	特集「ひな祭り15選」
10	国土学事始め／なるほどブリッジ⑬
11	話題の道の駅「きくすい」
12/13	グリーン・ツーリズム
14	読者の声／おもしろ万葉集
15	プレゼント／パズル

道の駅を旅するルートプレス記者を募集

第1回 道の駅を〝学びの場〟に～キャンペーン
国土保全への意識育む

島根・ゆうひパーク浜田

「安心・安全のための防災講演会」

暮れなずむ日本海。茜色に染まる海と空。夕照に心が和む。国道9号バイパスに面した島根県浜田市原井町の道の駅「ゆうひパーク浜田」。夕映えを一望できる丘にあるこの道の駅で昨年11月末、第1回目の「道の駅を〝学びの場〟に～キャンペーン」が開催された。題して「安心・安全のための防災講演会in道の駅『ゆうひパーク浜田』～道の駅、もう一つの顔は防災拠点～」だ。

「ゆうひパーク浜田」は、災害時に地元自治体と協力する協定も結んでいる防災拠点であり、伝承芸能・石見神楽を定期的に演じて郷土の情報を発信し続けている道の駅だ。まさにキャンペーン第1弾にうってつけの舞台だった。

イベントは道の駅主催で、国交省国土地理院中国地方測量部と浜田市が共催。社団法人国土緑化推進機構も全面的に協力した。開催のお知らせは、当日朝のNHKのラジオ番組「ラジオあさいちばん列島リレーニュース」やテレビでも紹介された。

会場のアトリウムにはお年寄りから子供まで約60人が詰めかけ、石見神楽が始まる前には200人近くの盛況に。

浜田市や国土地理院の専門家が、防災に対する心構えなどの話を分かりやすく説明した。国土緑化推進機構も緑の重要性をアピールした。

「ゆうひパーク浜田」の柿田幸夫駅長は「防災や緑化への関心が一気に高まった。道の駅も様々な工夫を重ね、より身近な駅に発展させたい。大いに道の駅を利用してほしい」と挨拶。「道の駅で地元のことを教えてもらえるとは」など参加者の反応も良く、全国初の試みは好評だった。

道の駅の防災拠点化

国交省は自治体と協力し、地震など災害発生時に避難場所などに利用できるよう道の駅の「防災拠点化」を進めており、「ゆうひパーク浜田」も拠点化が完了している。

基調報告を兼ね開会挨拶した国土地理院の吉兼秀典参事官は「災害時には刻々変化する被災状況やライフライン、救助や復旧の情報が地図に投影される。そのしごとは国土地理院の役割」と、地図の重要性を説明した。

浜田市の前木俊昭安全安心推進課長は、3年前に避難所に指定し災害時利用の覚書を結んだことを紹介。「地域の災害特性を知るのが第一歩。自分の命は自分で守り、家族の命は自分が守り、地域の安全は我々で守る、という意識を持ってほしい」と訴えた。

測量や地図が貢献

国土地理院中国地方測量部の田中仁志防災情報管理官は「自然災害への備えと災害対策」～測量・地図の貢献～をテーマにミニ講演。同駅周辺を中心に、コンピューター処理で色や陰影をつけた立体図や空中写真などを映しながら説明。「道の駅の機能と、災害に対して測量や地図がどう貢献しているかなど、理解を深めてもらえたのでは」と話す。

国土地理院はコミュニケーション型行政推進のため、測量や地図について広く知ってもらい、住民の意見や要望を聞く場として、普段から「出前講座」を開いてきた。吉兼参事官は「こうしたイベントが全国の道の駅に広がれば、防災や国土保全への国民意識は確実に向上する」と、キャンペーンの全国展開に期待を寄せている。

▶アトリウムで行われた防災講演会

▶高い丘に建つ道の駅・ゆうひパーク浜田

㊨浜田市も地域防災について説明㊤地図と防災について語る吉兼参事官

伝承芸能・石見神楽
道の駅 舞台に

大太鼓、小太鼓、手拍子、笛。勇壮活発な神楽囃子がアトリウムに響き渡る。伝統衣装をまとった地元有志たちが激しく舞い踊る。階段まで鈴なりの観衆の歓声や拍手。

道の駅「ゆうひパーク浜田」は、伝承芸能・石見神楽の舞台でもある。

毎月第2、第4日曜日の午後1時～3時、アトリウムで石見神楽が披露される。近在はもちろん他県からもこの道の駅を大勢の人が訪れ、古典芸能を堪能する。古事記や日本書紀を基とし神楽の起源を示す「岩戸」や、迫力ある動きでスケールの大きい「大蛇」など、60近い演目が石見地区の約150団体に受け継がれており、1回に4演目程度を演じる。

この古典芸能の伝承を支えるのが自称「石見神楽の応援団長」の佐々木与司孝さんや、神楽面作り工房を営む柿田勝郎さんだ。柿田さんは道の駅「ゆうひパーク浜田」の柿田駅長の親類でもある。

道の駅から車で5分ほど丘を下ると柿田さんの工房がある。様々な表情や色の神楽面が並ぶ。石見神楽だけでなく、微妙な違いを見せる全国各地の神楽面を彫るという。

佐々木さんの本職はデパート勤務。各地の社中を招き店のイベントで神楽を見せるうちファンの輪が広がり、応援団「石見神楽振興会」を結成。今では他県の神楽にも精通する。「石見神楽は郷土が誇る島根の宝。多くの人に体感してほしい」と熱く語る。

石見神楽応援団長を自負する佐々木さん（右）。柿田さん（左）の面工房で

涼しい舗装
ヒートアイランド現象 緩和に期待

「舗装」は、道路の表面をアスファルトやセメントなどで固めた構造物です。コンクリート（concrete）は英語で「固めたもの」の意味です。よって正式にはアスファルトで固めたものはアスファルトコンクリート、セメントで固めればセメントコンクリートとなりますが、一般的に前者をアスファルト舗装、後者をコンクリート舗装と言っています。

約50年前までは、日本には舗装されていない道路が沢山あり、雨の後などに車がぬかるみにはまって立ち往生する場面が多く見られました。現在はほとんどの道路が舗装され、自動車や歩行者が安全で快適に通行できるようになっています。

舗装には沢山の種類があり、人や環境にやさしい舗装もあるのをご存じでしょうか？ 代表的なものは、雨の日に水たまりができない排水性舗装／景観に配慮して着色したカラー舗装／柔らかく歩きやすくしたゴム舗装／自然素材を用いた土系舗装・木質系舗装、などです。

中でも、排水性舗装は「すきま」が多い構造により、雨でも水たまりができず水しぶきも上がらないため安全に道路を利用でき、道路交通騒音を小さくする効果もあります。高速道路や都市部では最近よく採用されています。

最近注目を集めているのが「涼しい舗装」です。舗装表面の温度は、夏の日中は60℃にもなり、舗装は都市部でのヒートアイランド現象の原因の一つと考えられています。そこで、夏でも熱くならない涼しい舗装として、遮熱性舗装＝図1＝や、保水性舗装＝図2＝が開発されています。

遮熱性舗装は、日光からの近赤外線を反射する特殊な塗料を舗装の上に塗布して、舗装が熱くなるのを防ぎます。保水性舗装は、舗装内部に保水材を混ぜ、雨が降った時に水分を保ち、晴れた時に気化熱により舗装の温度を上がりにくくします。

これらの舗装は普通の舗装に比べて10℃程度、路面温度を低くできます。実際の道路での施工は、実験的なものも含め年々増えています。代表的な例では、遮熱性舗装は銀座通り（国道15号）に、保水性舗装は国会議事堂の裏の国道246号に施工されていますので、近くに行かれた際には、足下に注目してみてください。

（土木研究所道路技術研究グループ舗装チーム・研究員　川上篤史）

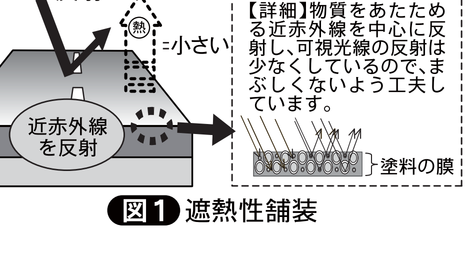


図1 遮熱性舗装

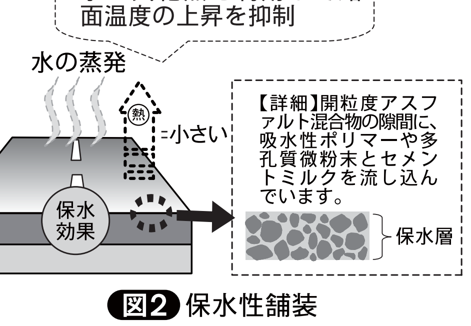


図2 保水性舗装

地域の宝もの

糠谷　真平
国民生活センター顧問

日本経済支えた旧筑豊炭田

昨年11月、シンポジウムで長崎を訪れた帰途、思い立って旧筑豊炭田地帯に立ち寄った。

私は昭和40年代前半に経済企画庁から大蔵省主計局通産係に出向し、石炭予算を担当したことがあった。当時はエネルギー革命の真っ最中で、戦後の成長を支えた石炭も主役の座を石油に譲り、閉山が相次ぐ状況だった。

炭田は九州と北海道に集中していたが、特に九州の炭鉱は炭質や採掘条件で北海道に劣り厳しい状況だった。予算的には閉山交付金というのを交付し閉山を促進したわけだが、時代の流れには抗しきれず九州だけでなく北海道も閉山が相次ぎ、現在は日本には稼動している炭鉱が一つもなくなったのはご案内の通りだ。

当時担当者としていくつかの炭鉱を訪れたことはあったが、現在も重要文化財として保存されているのがあると聞き、立ち寄ることにした。

志免炭鉱の竪坑櫓と言われるもので、地下の採掘現場まで鉱夫を運び、また掘り出した石炭を地上に運び上げるいわば簡易エレベーターのようなものだ。地下400㍍の現場までかごで運ぶわけだから地上の櫓の高さも50㍍近くに及んでいる。

これは昭和18年に建設されたものだそうだが、石炭産業華やかなりし頃は、これが毎日毎日上下し、日本経済の成長を支えたわけだ。

しかし、エネルギー革命の大波には抗しきれず志免炭鉱も昭和39年に閉山に至ったという。

櫓は何事もなかったように農村地帯のなかにたたずんでいた。近くに青々とした木々や草の茂った小山があるので、あれは何かと問うと、昔のボタ山の跡だと言う。植物の生命力の強さと歴史の長さを感じた風景だった。

炭鉱跡の見学後、近くで地場産の富有柿を使って酢を造っている会社を訪れた。酢というと酸っぱいというイメージがあるが、これは酸味と甘味がほどよく調和してやわらかく、水で割って飲むとおいしい飲み物にもなる。地域に出てみると常に何か発見がある。これだから旅はやめられない。

国土緑化推進機構
キャンペーンに参加
森林再生の重要性訴え

㊤石野常務理事から緑の募金箱付き新聞ラックの贈呈を受ける柿田駅長（左）㊧緑化の重要性をアピールする青木常務理事

国土緑化推進機構は、道の駅を中心に「地域の緑と地球環境を守る」活動（道の駅グリーンプロジェクト）を本紙ルートプレスと一緒に進めており、その一環として道の駅「ゆうひパーク浜田」での「道の駅を〝学びの場〟に～キャンペーン」に参加。緑化の大切さをアピールした。

同機構は全国植樹祭を緑化運動の中心的行事として毎年実施しているほか「緑の募金運動」や「学校林の推進」など国土緑化運動を担ってきた。道の駅グリーンプロジェクトは全国の道の駅に順次「緑の募金箱付き新聞ラック」を設置し、道の駅利用者の情報入手の利便性を高めつつ緑の募金を一層充実させるのが目的。

道の駅グリーンプロジェクト
緑の募金 さらなる充実を

同機構の青木正篤常務理事はミニ講座で「日本の森林は戦後、島根県の2・2倍150万㌶が荒廃地だった。全国植樹祭や緑の募金を通して、荒れた国土の復興を担ってきた」など、森林再生の重要性を訴えた。

同機構は全国植樹祭が昨年60周年を迎えたのを機に、森林再生の歩みを記念誌にまとめたが、その中から40点の写真パネルを作成。青木常務は「全国の道の駅で巡回写真展を開催し、緑化への国民的関心を高めたい」と、道の駅グリーンプロジェクト推進に意欲を見せた。

続いて島根県緑化推進委員会の石野眞常務理事が「道の駅を拠点に国土緑化運動が拡大するよう協力をお願いしたい」と呼びかけ、同駅に「緑の募金箱付き新聞ラック」を贈呈した。

このラックは、本紙ルートプレスはもとより、道の駅が発信したい様々なチラシなどの情報を搭載でき、緑の募金箱が付設されているもので、同駅は早速、道の駅利用者が大勢往き来する一角に設置した。

ラック設置相次ぐ

プロジェクトは始動したばかりだが、「緑の募金箱付き新聞ラック」の設置が相次いでいる。既に島根県を皮切りに山形、山梨、滋賀、岡山、愛媛、熊本の7県15カ所の道の駅に贈られ、続々と設置される勢いだ。

間もなく1000駅

ゆるやかなネットワーク化へ
「飛び出せ！　道の駅」

道の駅は間もなく1000駅になる。1都道府県平均約20カ所強。1000駅を機に、道の駅が道路利用者や地域住民に一層役立つよう「ゆるやかなネットワーク化」を作る構想が道路関係団体や道の駅関係者の間で進んでいる。「協議会を作り、会長を決め、会費を納め、事務局を置き、活動する」一般的な形ではなく、ゆるやかにスタートさせるのが特色だ。

例えば「〇〇の推進に賛同する方」など、ごく簡単な入会条件を世話人（単にお世話するだけ）が決め、賛同する道の駅の駅長がメーリングリストに参加、様々な情報交換をする。

イベントの開催情報、道の駅弁など自慢の商品情報、共同開催イベントの参加呼びかけ、などが考えられ、「道の駅を〝学びの場〟に～キャンペーン」のミニ講座実施ももちろん含まれる。

国土緑化推進機構が「緑の募金箱付き新聞ラック」を置いてもらえるか道の駅にアンケートした結果、1～2カ月で相当数の応諾があった。この緑を発展させ、今後5年間で地球環境の保全や創造に、何でもいいから一つでも実践する道の駅を募集し、ゆるやかなネットワークを形成する。

ネットワークの活動継続には、楽しみながら進める工夫も必要だ。例えば、参加する道の駅は「グリーン道の駅」として共通ロゴを作るなど企画、年一回は集まれる人だけで交流会も計画する。本業の片手間に出来る範囲での企画から始める。

「学びの場」への講師陣も、国交省や道路関係者は「道の駅建設に関わった人や、国土や地域に思い入れのあるOBは多い。そんな人材もボランティアで活用してはどうか」と話す。

ゆるやかなネットワークの名は「飛び出せ！道の駅」。

飛び出そう、道の駅新時代へ！

環境に優しい舟運
海の道(6)
世界では健在「河の道」

昨秋、名古屋で国際航路協会125周年記念式典が開かれました。同協会は、港湾や航路などの技術的課題に関する調査や研究を目的に1885年設立、65カ国が加盟しています。

式典には、皇太子殿下のご臨席と実行委員会名誉会長の前原国土交通大臣（当時）を始め世界41カ国約700人が参加。皇太子殿下は協会と深い関わりもお持ちで、90年に大阪で開催した会議では、オックスフォード大留学中に研究された「テムズ川の水運史」に関連して講演されました。

欧州はドナウ川やライン川のような国際河川や運河を利用した水運「舟運」が発達していたため、この協会は当初輸送の国際間協議が目的で設置されました。

欧州を代表するオランダ・ロッテルダム港は、ライン川河口部に位置し、鉄鉱石や石炭などが川を遡上し、ドイツのルール地方で生産された工業製品が川を下って海外へと向かう重要な経由地です。欧州の河川は、勾配は緩やかで川幅も広く、水深が安定しています。下る船の運航は流れに任せる超省エネ型で、古来より人流や物流の交通路、「河の道」として発達しました。

今回の会合では、全長4800㌔㍍の国際河川メコン川流域のベトナム、カンボジア、ラオス諸国も参加し、プレゼンテーション。メコン川の舟運を通じ、古くから経済、文化面での深い繋がりをアピールしました。

我が国の舟運は、江戸時代には大きな役割を果たしましたが、明治の鉄道網の発達とともに衰退。日本の河川は勾配が欧州に比べ、10倍以上の急峻で流れが速く、土砂の堆積などで水深の変化が激しい条件下にあります。

明治時代、河川工事のため来日したオランダ人技師デレーケは「これは川ではない、滝だ」と驚愕したと言われます。琵琶湖から大阪湾に流れ込む淀川水系は、昔は京都と大阪を結ぶ重要な河の道として利用されました。豊臣秀吉が伏見に築城した時、陸上と河川の交通を城下に集中させるため伏見港が整備され、三十石船が伏見～大坂間を行き来しました。

江戸時代には高瀬川を開削、京都と結ばれました。伏見港には参勤交代の大名が立ち寄るため本陣や大名屋敷も置かれ、坂本龍馬が常宿とした船宿の寺田屋があったのは有名です。この港は歴史的な港湾として保存され、今も港湾法上の「地方港湾」です。

千葉県野田市には「運河」という駅名があります。名の由来である「利根運河」は、江戸時代に東北地方の太平洋岸から、房総半島を廻らず銚子から利根川に入って遡り、途中で江戸に下る江戸川と結ぶルートとして開拓されたものです。

各地で活躍した「河の道」は、近代化とともにほとんど姿を消しましたが、地球温暖化の現在、世界は省エネ温室効果ガスの排出削減策の輸送として健在です。舟運は、自然が人類に与えてくれた環境に優しい輸送手段だからでしょう。

㈶沿岸技術研究センター・八尋明彦

ドナウ川の水中翼船

平城遷都1300年 シンポジウム

自然への畏怖忘れずに

興福寺貫首・多川俊映さん講演

平城遷都1300年の奈良文化財研究所・平城宮跡資料館で昨年11月、国土緑化推進機構など主催の「平城遷都1300年に考える―古代の森　未来の森」シンポジウムが開かれ、パネル討論などが行われた。基調講演で興福寺の多川俊映貫首は「人間は自然の一員であり、自然に寄り添う姿勢、自然を畏怖し敬愛する姿勢を忘れてはいけない」と警鐘を鳴らし、森づくりへ示唆に富む話を展開した。その講演要旨を紹介する。

甦れ！鎮守の森 ④

興福寺五重塔

「伐採」「保存」山に線引き

寺の再建　木材転用も

興福寺の歴史は焼失と再建の繰り返し。シンボル五重塔や隣の東金堂も5回焼け、再建中の中金堂は今回が8度目。そのつど用材を集め瓦の土を採取する。まさに「森の恵み、地の恵み」で興福寺があるが、ところ構わず樹木を伐採するのでなくルールがあった。

お堂を建てる際、地鎮・鎮壇をし、地の神に建物の永遠性を祈る。自然への畏敬の念が鎮壇に含まれている。寺社の建築は古来、転用できるものは転用する考え方だ。奈良の多くの寺は飛鳥から移ってきた。平城京に新しい寺を造営するにも、前身寺院の木材の転用が結構あった。

元興寺の禅室の屋根裏材は飛鳥時代初期に伐採したヒノキが用いられ、禅室が飛鳥寺から材を転用して移ってきた。平城京の朝集殿が唐招提寺の講堂になったのは有名。明治以後も、興福寺旧一乗院の宸殿が奈良地方裁判所に使われ、唐招提寺の御影堂に。仮金堂も薬師寺の旧金堂の材を譲り受けた。一度もらった森の恵みをなるべく丁寧に大切に使う。これが古来の日本人の考え方を象徴的に表している。

基調講演する興福寺の多川俊映貫首

神聖な場　春日山

興福寺の近くに春日山があり麓に春日大社がある。一帯は古来極めて神聖な場所で、むやみに樹木を伐採し土砂を採るなどあり得ない。春日山の尾根の裏の花山が春日社や興福寺の杣山になっており、用材調達の場だ。春日山一帯は神聖だが、尾根から東側はいい、と線引きしてきた。

薪能は全国に400以上あるといわれ奈良が発祥だが、奈良は薪御能という。同列に扱われないよう「御」の字を入れた。薪は幽玄を演出するためだが、奈良では花山から神聖な薪（御薪）を運び、興福寺境内でお迎えする儀式がある。神様から頂戴したという認識だ。

春日山一帯が人間を超えた神の領域という認識は古代から受け継がれ、結果として春日山原始林になっている。

室生寺の木立

人間はあくまで一員

現世は人間の都合が再優先だが、人間の傲慢さが表れている。仏教では人間は自然の一員。虫けらから人間まで生き物、命あるものが地球上にひしめき、ひとくくりに「衆生」という。人間の都合で何でも決めるのはいかがかというのが、仏教など東洋の考え方だ。

最近よく「自然に優しく」という言葉を聞く。「自然に優しくしてあげる」意味だろうが、人間はここまで傲慢になったかと思う。私たちは自然の中の一員だということをもう一度取り戻さない限り、自然を保護するといっても必ず破綻する。

人間がいかに偉大でも、自然の中にいる限り、自然は人間の都合を寸分だに斟酌しない。自然はその摂理で動いている。

我々がコントロールするものではなく、寄り添っていく姿勢が大切で、そこからすべて始まる。自然は怖いもの、畏怖すべきもので、同時に敬愛の対象でもある。

奈良　平城遷都1300年祭　イベント拡大継承

2010年の１年間、奈良県の平城宮跡会場はじめ県内全域で1500余の地域イベントを繰り広げた「平城遷都1300年祭」は、当初見込みの倍以上、延べ約2000万人が来場する盛況で海外にも大きな反響を呼び、日本全国に古代のロマン志向を改めて花開かせる役割を果たした。

㊤天平行列（大極殿前庭で）㊦せんとくんもいる道の駅「宇陀路大宇陀」

今後も市民ぐるみでPR

成功の大きな要因は、一過性を避けるため従来のイベントがパビリオンなどのハコもので有料入場者を当て込む方式中心だったのに対し、今回は復原した第一次大極殿のほかは、遣唐使船や平城京歴史館、なりきり体験館程度に抑え、社寺の「秘宝秘仏公開」など奥深い奈良のホンモノを見せる豊富な歴史・文化遺産を中心に、県内全域を会場とした「巡る奈良」事業の施策にある。

特徴的だったのは、ボランティアガイドをはじめ市民ぐるみで1300年祭を盛り上げたことだ。奈良県は「成功はボランティアの支えがあってこそ」と、好評だったボランティアガイドの今後の活躍に期待している。

敢えてソフトのイベントを重視した新スタイルは、県民、社寺、観光関係者、行政が協働していく進め方であり、今後の博覧会やイベントの方向性を示唆している。

奈良県や同協会など関係者は、この成功を1年だけの「お祭り」に終わらせず、平城宮跡会場の主要施設を引き続き公開し、県内各地の豊富な歴史・文化遺産を活用した魅力的イベントを拡大継承する。

中でも、古事記完成から1300年目にあたる年を来年に控え「記紀・万葉プロジェクト」がスタートする。また、奈良県中和地域の自然、歴史、文化などの魅力的な観光資源を周遊するキャンペーン『大和浪漫回廊～万葉集・古墳を巡る～』が始まっている。＝5面参照

■せんとくん“県職員”に

1300年祭の公式マスコットキャラクターとして大活躍した「せんとくん」も今年、県職員になり魅力ある古都奈良のPRに今後も活躍する。

今またまさに「はじまりの奈良」として新たな奈良観光の幕が開く。

国際森林年

森への理解深めよう

多彩なイベント開催

2011年は国連が決めた「国際森林年」だ。森林に関する市民の理解と参加を目的に植樹、森林祭、国際会議・シンポジウムなど様々な活動が展開される。ロゴマークは「Forest for people」（人々のための森林）をテーマに、森林の持続可能な経営、保全など人間の役割を称える。居住環境や食料・水などの供給、生物多様性保全、気候変動緩和など森林の多面的機能が人類に欠かせないと訴えるデザインだ。

日本は世界有数の森林国。奈良時代から植林が行われ、自然との共生関係を維持してきた。荒れた山林も戦後、一貫して緑化を進め豊かな森林が育ったが、森林と人間との共生関係は、更に進化する必要がある。

生物多様性に富む自然を提供する森林保全、木材やエネルギー資源への効率的・持続的活用、安らぎを与える体験機会の提供、貴重な淡水を生み出す水源涵養、災害から国土を守る国土保全などを国民の理解と協力で進める努力が不可欠だ。

世界では大規模な森林破壊が続く。日本は森林減少の防止や持続的な森林経営の推進に協力する必要があり、様々な活動を進める多くの人を支援することも大切だ。

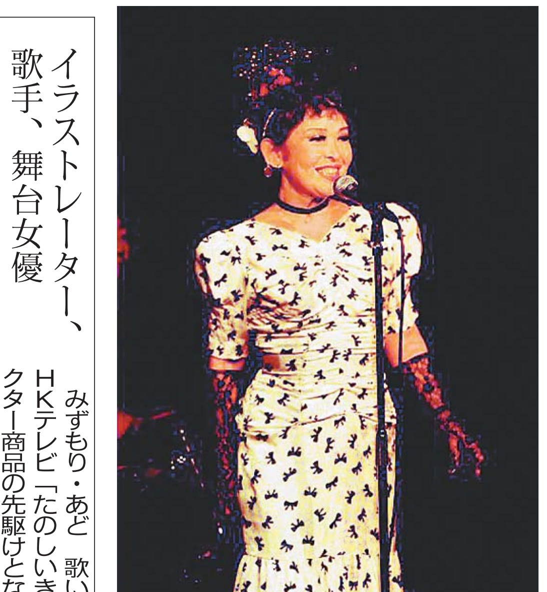
政府は国際森林年を推進する国内委員会を軸に「森を歩く」をテーマに、各地のイベントと連携し、取り組みを推進する。行政や学会、NPOによるシンポジウム、国際交流、森林を守り活用する企業やNPOの活動を支援し紹介・PRする取り組み、森林・木材について都市住民に知ってもらう取り組みも進める。

美しい森林の写真や森林に関する芸術活動なども理解を進めるツール。国際森林年を機に森の大切さを再認識し、森林を持続的に保全・利用する契機にしたい。

吉野千本桜

私の道

パリ下町風の劇場つくりたい



イラストレーター、歌手、舞台女優

水森亜土さん

みずもり・あど　歌いながら両手で絵を描く「亜土たん」として1965年からNHKテレビ「たのしいきょうしつ」に出演。イラストを配した文房具や雑貨はキャラクター商品の先駆けとなる。ジャズのライブ活動を続けながら、劇団未来劇場では年2回舞台に立つほか主宰者である夫・里吉しげみさんを支える。同劇団の第20回レビュー公演は4月15日から東京・銀座博品館劇場で開催。

道の駅って楽しいですよね、その土地の味に出合えるから。長野にアトリエがあるので毎週車で行き来してますが、高速道路だと長野県の松川村までビューンと行っちゃう。そこの道の駅のクルミの飴煮がおいしいの。途中でスケッチしたい時は国道を走って山梨県の白州にある道の駅に寄ります。一緒に行く犬もね、道の駅で一息入れると落ち着くの。白州の道の駅は名水を持ち帰れるんですよ。

静岡県の朝霧高原や天城峠にある道の駅も好きですね。おいしいジャムとか漬物、わさびコロッケは必ず買います。気が短いのでぱっと決めてぱっと買って、気に入るとみんなの分まで注文しちゃう。北海道で見つけた炒りゴマのふりかけもそう。これがなかなか届かなくて、しびれを切らしてラベルを見たらメードイン静岡だった。天城峠の道の駅で山ほど見かけた時はショックでした。

生まれたのは東京の日本橋です。ちっちゃい時は三越のライオン像の上に乗って遊んでたんだって。ライオンの口に手を入れると悪い子はかみつかれるっていうんで、ウキウキしながら手を入れる子でした。日本橋の欄干にロウセキで落書きして遊んだりね。

私ぎっちょ（左利き）なんですよ。うちはおじいちゃん、お父ちゃんとぎっちょで家には左利き用の包丁や急須があったし、お父ちゃんとは右手用のグローブでキャッチボールしてたの。小学校に上がる時にお母ちゃんが直しなさいって。そしたらどもるようになって、6年生まで強度の対面恐怖症というのかな、いつも学校から泣いて帰って来てました。

美術学校も落ちたし試験とかオーディションにはいろいろ落っこちましたが、NHKの子ども番組のオーディションには受かっちゃった。なぜかというと、きみ何か特技はあるかいと聞かれて思わず「両手で絵が描けます」ってね。それから特訓しました。いまお箸と字を書くのは右、絵と力仕事は左かな。厳しくてつらかったけど、両利きになれたのはお母ちゃんのおかげということですよね。

そしてもう一つ、受かったのが未来劇場という劇団。毒気たっぷりのお芝居と、日本では珍しくレビューを上演し続けてます。昔はSKDとか日劇ダンシングチームとか、宝塚とはまた違う大人のショーが見れたでしょ。小さくても劇場をつくりたいですよね。ちょっとワインを飲みながら、いつでもきれいなダンサーのショーを楽しめるの、パリの下町っぽい雰囲気で。夢ですね。

歴史・文化遺産活かす

「まほろばの国」巡るキャンペーン

道の駅で情報サービス

奈良県は「まほろばの国・奈良」の各地で守り育てられてきた歴史・文化遺産を活用するイベントを「平城遷都1300年祭」後の今年も継承し発展させようと、様々な趣向を継続させる。

その中、奈良県高田土木事務所を中心に進められている『大和浪漫回廊～万葉集・古墳を巡る～』キャンペーンの情報が、県内の道の駅で発信している。

■学びながらクルマで周遊

古墳や万葉歌碑が数多くある奈良県中和地域を舞台に、県内市町村や奈良女子大学古代学学術研究センターなどの協力も得て、同キャンペーンを実施。クルマ利用者らに楽しく、有意義に学びながら周遊してもらおうと、様々なサービスを用意した。

■古墳・万葉集の歌碑

大和盆地に点在している古墳と万葉集の歌碑を組み合わせ、古代のロマンに思いを馳せてもらおうという企画だ。

「万葉集」約4500首には、この地の自然や愛する人への思いが数多く詠まれ、そのゆかりの地を中心に約200首の歌碑が建てられている。大和青垣と讃えられる大和盆地を囲む山々は、藤原京や平城京の時代からつながる自然や万葉人の息吹を感じさせる。

歌碑の多くは戦後建立され、地域の人々の自発的な掃除や草刈で守られてきた。川端康成、棟方志功、平山郁夫など著名人の筆になる碑も多い。同センターはこれらを万葉歌碑データベースにまとめ、ホームページで公開している。

■ガイドブック無料で提供

奈良県は、古墳と歌碑を併せエリアごとに紹介するガイドブックを同センターの監修協力で作成、参加者に無料提供している。

3月27日（日）までのキャンペーン期間中、昨年の1300年祭で情報発信拠点にもなった県内の「道の駅」や西名阪自動車道香芝サービスエリアなどで、ガイドブック（ホームページからもダウンロード可能）を入手できる。

そこに記載された20カ所の観光案内所や博物館などで「古墳カード」を入手し応募すると、飛鳥米などの特産品6品が各5人に抽選でプレゼントされる趣向もあり、はずれ100人へのプレゼントも用意した。さらに、18種類ある「古墳カード」を全て集めて応募すると、抽選で1名にパーフェクト賞も当たる。

県内23カ所の協賛レンタカー店では、チラシ持参者に料金10%引きサービスも。

その他にも、道の駅「針TRS」などで、観光ドライブマップの配布や、電子掲示板デジタルサイネージを利用した地域情報サービスも継続されている。

石舞台古墳

［国特別史跡］

蘇我馬子の墓だといわれる古墳です。墳丘は下段が高さ２～３mの方形で残っています。封土が失われ巨大な横穴式石室が露出した特異な状況から「石舞台」と呼ばれました。石室は粗く加工した30数個の花崗岩を積み上げて造られています。天井石が最も大きく約77tもあり、石材総重量は2300tに及ぶともいわれ、当時の土木・運搬技術の高さがうかがわれます。石室は全長約20m、玄室内部は長さ約7.7m、幅約3.4m、高さ約4.8mと日本最大級です。一般公開され、石室に入ることもできます。

詳しくは
『大和浪漫回廊』ホームページ
http://yamato-romankairo.com/
奈良女子大学古代学学術研究センター万葉歌碑データベース
http://www.nara-wu.ac.jp/kodai/gis/kahi/index.html

列島保全への課題

わが国、国土のすがた

⑤積雪寒冷地に暮らす

細雪（ささめゆき）、粉雪（こなゆき）、淡雪（あわゆき）、牡丹雪（ぼたんゆき）、綿雪（わたゆき）、里雪（さとゆき）、名残雪（なごりゆき）、雪月夜（ゆきづきよ）、雪化粧（ゆきげしょう）……。

日本は外国に比べて「雪」にまつわる言葉が多く、英語の「Ｓｎｏｗ」に関連する言葉の数と比較しても、日本の「雪」にまつわる言葉の方が圧倒的に多い。私たち日本人が「雪」と深く関わって生きてきた証であり、「雪」は日本文化にとって欠くことのできない要素である。しかし……。

国土面積の約６割が積雪寒冷地域

冬期の豪雪 国民生活に大きな影響

そもそも日本列島は、地球規模で見ると比較的緯度の低い所にあり、冬の寒さという意味でいえば、わが国より寒い地域は多い。サンクトペテルブルク（ロシア）、モントリオール（カナダ）、ストックホルム（スウェーデン）など、これら諸外国の大都市の冬の気温は、日本の北海道や東北地方の冬の気温と比べて低いが、一方で、札幌や青森のように、豪雪地帯に大都市が存在している国はまずない。

積雪の深さではなく、降雪量を単純に足して、その冬にどのくらい雪が降ったかを示す「年間累加降雪深」が7㍍を超えるところに青森市（人口約30万人）があり、5㍍を超えるところに札幌市（人口約190万人）が存在している。

東京や大阪など太平洋側の地域に暮らしていると実感は乏しいが、日本の国土面積の約60％は積雪寒冷地域にある。

そこには全人口の約20％の人々が暮らしており、北欧4カ国に匹敵するほどの経済規模（国内総生産）があると言われる。この積雪寒冷地に住む人々にとって雪は、いろいろな面で生活に大きな影響を与えている。

この年末・年始、記録的な大雪が山陰地方を中心に日本海側を襲い、交通麻痺、ライフライン切断、集落の孤立、漁船の転覆、農業被害……など、甚大な被害が発生したことは記憶に新しい。

被害や影響を受けた人の中には、正月を田舎でゆっくりすごそうと、東京はじめ都会から帰省中の人も少なくなかったであろう。

その一方で、太平洋側の東京などでは晴天が続き、駅伝をはじめとする新春イベントが盛大に行われていたのである。

欠かせない雪への備え

日本海を対馬海流の暖流が北上して流れ、シベリア寒気団からの風が吹いてくるという冬の気象条件を前提とすれば、国土を縦貫する脊梁山脈に沿って吹き上がった湿った空気が、山脈の日本海側で雪を降らすのは当然の摂理である。

この国土の自然条件によって、太平洋側で暮らす人々は穏やかな冬晴れの下で快適に生活でき、逆に日本海側で暮らす人々は、雪と向かい合わせの生活を余儀なくされるのである。

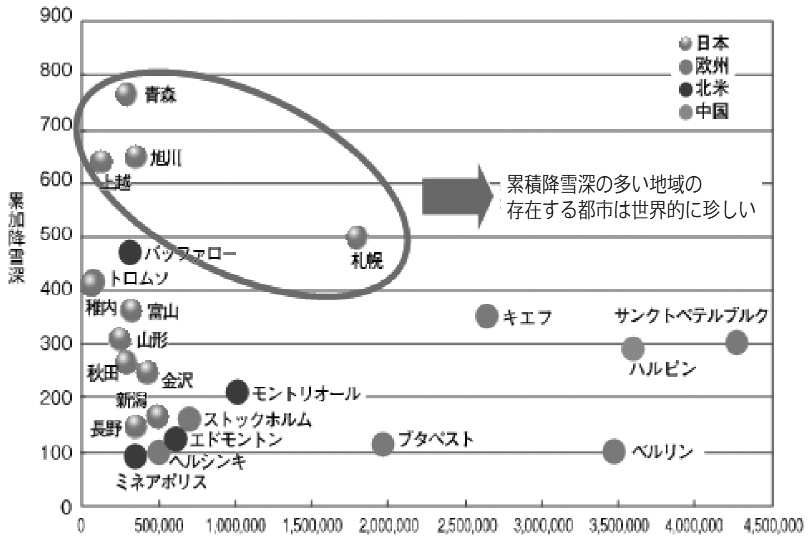
明治維新以降、日本人の多くは積雪寒冷地域を避けて、東京から静岡、愛知、大阪、兵庫、岡山、広島、福岡といった気候温暖な地域を居住地として選択してきた。これらの地域は、年間を通じて雪はほとんど降ることはなく、経済活動も活発で、極めて住みやすい環境にある。

しかし、だからといって、国土面積の6割を占める積雪寒冷地域に積極的に働きかけていかなければ、冬場の活動量が著しく低下し、ひいては日本の経済全体にとっても大きなマイナス要因となり得る。

暖かくなれば消えてしまう雪ではあるが、除雪するための費用は必要だし、雪に備えるための防雪柵やなだれ防止柵、流雪溝・踏面散水装置などのインフラの集積は欠かせない。

＝出典：国土交通省資料　グラフ・写真（上左3点）

雪国に多くの人が住む世界でもまれな日本



雪に埋もれた民家

防雪施設のスノーシェッド

除雪車による除雪作業

ロードヒーティング整備済みの道路

大分「童話の里くす」

豊後森のレトロな機関庫

九州道の鳥栖JCTから大分道で1時間ほどの距離にある玖珠ICで降りると、IC出口正面に道の駅「童話の里くす」がある。立ち寄って観光情報で目にとまったのは、レトロな鉄道の機関庫を紹介した綺麗なパンフレットであった。ミラノ・スカラ座の歌劇場にも似た湾曲したラインが美しい。

このようなタイプの機関庫は扇形機関庫といわれ、日本に数棟しか残っていない。有名なのは京都にある梅小路の機関区だが、そのような車庫が九州・玖珠の豊後森駅にもあるという。道の駅から豊後森駅までは国道387号で5分とかからない。ちょっと足をのばしてみようと思い立つ。

周囲に高層建築物がないこともあり、扇状に旋回する車庫は遠くからみても目立つ。すでに長い年月の風雪に耐えた色合いとなっていて、すっかり廃墟になっているが、近づいて見ると退廃的な印象は感じさせない。転車台の周辺は草が刈りこまれ、秋のコスモスが風に揺れていた。地元の人の手による行き届きが、逆に円形車庫の良さを浮き上がらせているように思えた。

豊後森駅に由布院へ向かうリゾート列車が入線してきた。ディーゼルの音が、煙をたなびかせるように尾を引きながら走るのどかさだ。この路線（久大本線）は非電化だが観光集客性では、九州随一の路線になっている。ここから由布院までは厳しい勾配になってゆく。かつて豊後森の役目は、その中継地点としてエネルギー、水の補給源となっていたという。

蒸気機関車の時代には「顔」の向きを変えるため絶対に必要であった回転台も、動力がディーゼル機動や電気機動となって、入れ替える必要がなくなった。技術方式が変わったことにより、それまでのインフラが一転して不要になる。鉄道界で象徴的な出来事がその転車台にも見て取れる。日本には数カ所しか残されていないほどの徹底した淘汰は、時代の趨勢といえようか。

ここを訪れた数日後、秋の鉄道まつりが開催された。ニュースで伝え聞いたところによると、錆びついて動かなかった転車台が、綺麗に手入れされたことによって、人力でも回せるようになったということだった。

（国道愛好家・松波成行）

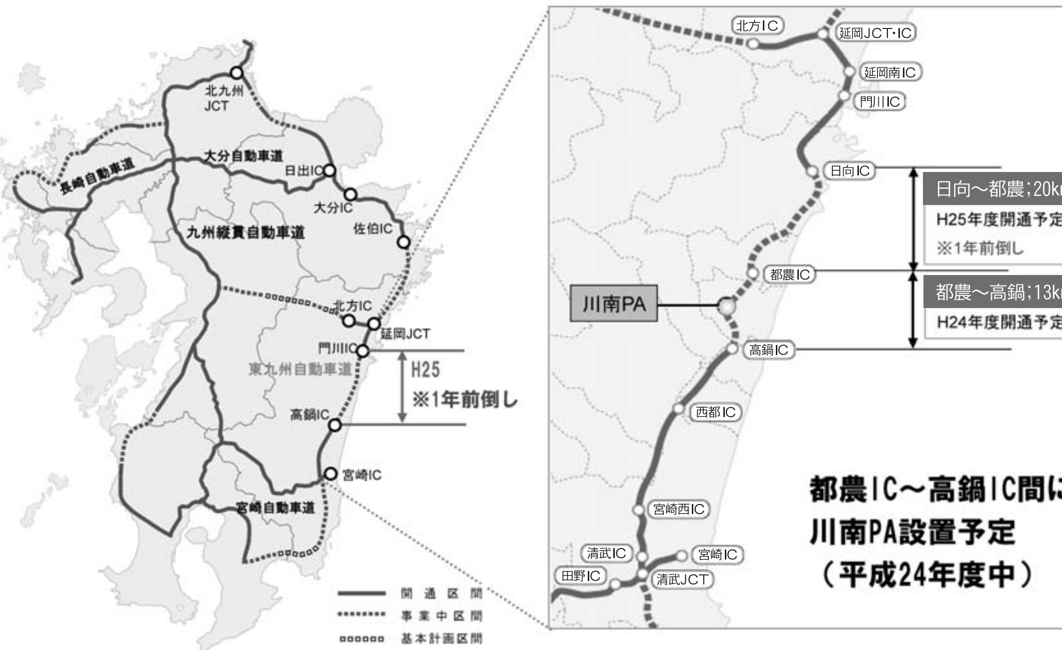
東九州自動車道

地域主体 ＰＡ開設準備

宮崎県内の５町連携

高速道路のSAやPAの建設を高速道路会社だけに任せず、自治体を中心に地域主体で進める動きがある。整備中の東九州自動車道では宮崎県内5町が連携し、高速道路会社の計画を変更して新たな「地域主体型PA」の開設準備を始め、他の地域も注目している。

続々と開通する東九州自動車道



高速道路のネットワーク化が遅れる宮崎県は、東九州自動車道の全線開通が悲願。高鍋IC（同県高鍋町）～西都IC（西都市）12・1㌔が昨年7月、門川IC（門川町）～日向IC（日向市）13・9㌔が12月に開通し一歩前進。都農IC（都農町）～高鍋ICが12年度中、日向IC～都農ICが13年度中に開通予定で、北九州～大分～延岡～宮崎のネットワーク形成まであと一息だ。

民営化後の規模縮小に危機感

旧日本道路公団時代に都農～高鍋間に計画された川南SAは民営化後、レストランや給油所は交通量が少なく採算が取れないと、PAに規模を縮小。地元は、高速道路の魅力も地域との関係も薄れてしまうと心配した。

東九州道で飲食・情報・給油サービスがあるのは大分県別府市の別府湾SAだけ。飲食サービスは都城市の宮崎自動車道山之口SAまで250㌔離れ、情報・給油サービスは九州自動車道に繋がっても345㌔先の鹿児島県の桜島SAだ。

旧公団時代は必要機能を一定間隔で作る国の基準があり、SA・PAは15～25㌔、給油所は50～60㌔、SAは50～100㌔間隔で整備された。高速道路建設の採算性が最優先の現状では高速道路会社は動けない。

川南、都農、高鍋、新富、木城の5町と商工会、観光協会、JAなどは危機感を募らせ、県や国土交通省九州地方整備局に働きかけ「川南PA利活用検討協議会」を発足。

「地域主体で利用者ニーズに合わせ企画、経営する休憩・サービス施設にすべきだ。知恵を絞り進化したPAを」と、NEXCO西日本に計画変更の基本的賛同を得た。

施設活かし地域振興・高速利用者増

同協議会事務局の川南町や同県高速道対策局は「休憩・サービス施設は地域との連携・協働が不可欠。施設の活性化が地域振興や高速道路の利用者増に繋がる。地域ならではの伝統、味も提供するユニークなPAにしたい」と意気込む。

当初計画

変更計画（案）

PAづくりで地域活性 「道の駅」開設にも波及

新型PAづくりの熱気は、都農町と同町商工会関係者を中心に「道の駅」開設運動にも波及した。一体は日向灘に面する港町。フグや伊勢エビなど海の幸はじめ、30余の瀑布群と同県出身の歌人若山牧水が愛した尾鈴山、日向国一之宮都農神社など、地域観光資源は豊富だが、中心市街地は落ち込みが目立つ。

地域主体で川南町に開設しようと奔走中のPAと連動させ、道の駅開設を「地域活性化の核に」との機運が高まった。そこへ口蹄疫災禍。被害回復が急務となり、商工会が求めていた道の駅構想が一気に始動した。

まちづくり実施計画では、宮崎～延岡を結ぶ国道10号の重要性は東九州道開通後も変わらないと、市街地に近い沿道約2・5㌶に多機能な道の駅を早急に開設、地域住民も利用しやすくする方針を打ち出した。

特産品直販施設は、都農漁港の鮮魚や毒がなく美味で人気ブランドの金フグが売り。地元農家と町が開発し「世界のワイン100選」にも選ばれた都農ワインも看板だ。山形県天童市で開いた「平成鍋合戦」で携帯電話投票1位になった「都農トマト鍋」も商品化。

同町総合政策課は「町ぐるみでアイデアを練っている。リニアモーターカー宮崎実験線の高架を活用した太陽光発電は、エコタウンを目指す町のシンボルとして生かしたい」と話している。

TPP参加問題

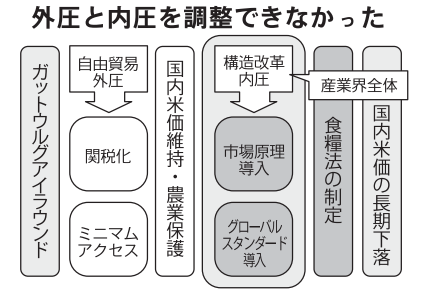
ガットウルグアイラウンドに酷似

最近新聞紙上によく登場するTPP参加問題。正式名称は「環太平洋戦略的経済連携協定」で、日本が参加した場合の国内農業が受ける打撃と不参加の場合の経済的損失が議論の中心だ。議論の展開や農業団体や国会議員の動きを見ると、1993年のガットウルグアイラウンド交渉と酷似していることに気付く。

「米を一粒たりとも入れない」とムシロ旗を立て交渉した結果、どうなったか。関税化の対価にミニマムアクセス米を受け入れたが、その選択には米価下落というシナリオは無かった。米価は当時の2万4000円から、今や1万2000円に半減している。

食用に回さないはずのミニマムアクセス米は40万㌧から80万㌧に倍増。結果、稲作農家の後継者は育たず、減反政策の先行きも見えない。戸別所得補償に展望を見出そうにも米価下落の後押しをしている始末だ。

外圧と内圧を調整できなかった



生物多様性に影響

TPP参加議論は農業問題だけでなく生物多様性の問題でもある。参加によって耕作放棄水田が100万㌶になると、5668種の田んぼの生きものが棲家を失う。

TPPに参加しても、日本の水田や農地が保全される方策は何か。財源はどう確保するか。参加によって活性化するであろう経済界から、どのような支援が可能か。

国民は安い輸入農産物と、自分の周辺の命を育んでいる国産農産物を価格だけで比較するのか。ポジティブな議論から、農業と経済と生きものがウィン・ウィンの関係になれるか見えてくる。

（原耕造・NPO法人生物多様性農業支援センター理事長）

「ユビキタス」具体化へ

ICチップで社会見守る

トロンショーで講演する坂村教授

微細なICチップを活用して人や物の多様な動きを見守ったり記録する日本発の新しい情報通信システムづくり「ユビキタスIDプロジェクト」が急速に具体化している。2011年は進化した技術による実証実験も首都圏などでスタートし、海外の導入も広がりそうだ。

プロジェクトは、携帯電話や各種家電の組み込みコンピューターにTRONを採用している企業や研究機関を中心に、公共団体も協力して進められている。TRONは東京大学の坂村健教授が80年代から提唱、無償公開している新しい概念のコンピューターOS。

昨年末のTRONショー展示やシンポジウム、坂村教授の基調講演などによると、新たな主なプロジェクトはTRONの「ユビキタス・コンピューティング」を応用するスマート社会づくりだ。

道路など埋設物管理に

例えばNEXCO東日本は、ベテランの目や勘を頼りに手間もコストもかかった道路施設の安全点検効率化のため橋梁などにICチップを埋め、誰がいつどんな材料で造ったかなどの情報を携帯端末で読む「ユビキタス道路メンテナンスシステム」導入を進める。

プロジェクトは、一般道も含めた導入促進実験で、一つのICチップで広く的確な情報を読み取り、道路施設のほか上下水道、電気など多くの埋設物維持管理などで、何度も掘り返さないよう目指している。

坂村教授は、新しい情報通信システムをインフラとして普及させるには「法制度など誰にも受け入れられる共通ルール整備が不可欠」と言う。

国交省が東京など各地で実証実験を進めている「自律移動支援システム」も、道路などに埋め込むICチップ以外のGPS衛星情報、携帯電話用無線、赤外線など様々な情報を一つの携帯端末で利用できるようルール作りを進める。障害者のためのバリアフリーマップが簡便に入手できるようにする研究会も関係省庁や企業で発足させる。

様々な薬に個別識別情報を付け、いつどこでどんな症状のとき調剤してもらったか、他の薬と飲み合わせて大丈夫かなどの情報提供サービス実証実験を東大付属病院などで開始。カルテに書く様々な情報と照合できるようにするとしている。

東京都共同募金会 物品寄付を

3月末まで

東京都共同募金会は3月末まで、企業を中心に物品寄付を呼び掛けている。赤い羽根で知られる共同募金も、物品寄付はなじみが薄いが、経済状況が厳しいおり、寄付の拡大に期待が集まる。

仕組みは、同会が福祉施設などが希望する家電製品など物品をリストアップ、新品に限られるが企業は型落ちや荷崩れなどで販売が難しくなった物品を同会に寄付、同会が施設に配分する。

企業も寄付物品を全額損金処理出来るのがメリット。大型機器の場合、輸送費や設置費も認められる可能性がある。在庫が利益につながり、社会的貢献にもなる。

◇　◇　◇

■問い合わせ
東京都共同募金会
☎03－5292－3181

手紙でたどる　にっぽん列島

あなたの「こころの風景」が映像でよみがえる

NHKのBSプレミアムで4月から新番組「にっぽん縦断　こころ旅～春編～」が始まる。旅の手がかりは視聴者から寄せられる1通の手紙。この手紙をもとにルートを決め、俳優・火野正平が日本列島を自転車で縦断する。

番組では京都・福井・石川・富山・新潟などにまつわるエピソードを募集中。詳細は全国道の駅に配布予定の番組チラシ、又は番組ホームページを参照。

本放送に先駆け2月に特別番組「長崎編」が放送される。

NHKBS-hi
「にっぽん縦断　こころ旅　～長崎～」
2月14日（月）～18日（金）7:45～7:55
2月15日（火）～18日（金）18:00～18:30
http://www.nhk.or.jp/kokorotabi/

道の駅から訪ねる 今年話題のひな祭り15選

平安時代からの歴史がある「ひな祭り」。主役のおひな様は束帯衣装、十二単が主流だが、その姿は立ちびな、座りびなをはじめ、吊るしびな、流しびななどさまざま。和紙、陶器など素材も変化に富んでいる。南からゆっくり北上してくる春を待ちながら、おひな様は出番の季節を迎えようとしている。道の駅から訪ねる今年話題のひな祭り15選を特集する。

小見出しは話題のひな祭り、所在地、最寄りの道の駅、駅の電話番号の順。文末のカッコ内は、高速道路ＩＣから道の駅に至る主なルート。

1 水郷のさげもん　福岡県柳川市
たちばな　☎0943・37・1711

同市中心街を舞台に北原白秋記念館（大人400円、小人150円、学生350円）、商店、個人住宅など約50カ所で水郷・柳川独特のひな飾りである「さげもん」が展示される。

2月11日のおひな様始祭で開幕し、3月8日のおひな様水上パレード＝写真、締めくくりの4月3日の流しびな祭りまで市内はひな祭り一色となる。（九州道八女ＩＣからR3）

2 うさぎのおひな様　大分県中津市
耶馬トピア　☎0979・52・3030

2月19日～3月6日まで、村上医家史料館（祭り期間中は120円）、中津市歴史民俗資料館（無料）をはじめ、ＪＲ中津駅から諸町周辺を中心に約40カ所で城下町らしいおひな様や創作びなが展示される。

江戸時代からの豪華なおひな様や庶民に親しまれた一文びなが並び、「久留米がすり菜花」では干支にちなんだうさぎのおひな様を展示即売する。（大分道日田ＩＣからR500）

3 陶器のひな人形　愛媛県砥部町
ひろた　☎089・969・2070

同町大南の砥部焼伝統産業会館（大人300円、学生200円、小人100円）で2月5日～3月6日まで砥部焼のおひな様＝写真＝が展示される。

今年で5回目、陶芸作家約10人が苦心のおひな様を出品するが、モチーフや大きさもバラエティーに富んでおり、焼き物の町らしいひな祭りとなる。（松山道松山ＩＣからR379）

4 ひな祭りで町起こし　岡山県真庭市
醍醐の里　☎0867・52・8040

3月3日～7日まで、町並み保存地区の同市新町商店街を中心に郷土資料館（200円）、商店、個人住宅約160カ所でひな人形が飾られる。

同市勝山は出雲街道の宿場、町起こしイベントとして始まったひな祭りは13回目。年々有名になり、いまでは観光バス利用のツアー客も集まり、4万人を超える人出となっている。（中国道北房ＩＣからR313）

5 流しびな　鳥取市
清流茶屋かわはら　☎0858・85・5331

おひな様約1000体を展示している同市用瀬の流しびなの館（大人300円、高校生以下と70歳以上無料）では、4月5日（旧暦3月3日）に流しびな行事＝写真＝を開催する。

男女一対の和紙のおひな様や桃の小枝をさんだわら（米俵の両端に当てる円形のわらのふた）に乗せ、近くの千代川に流す。災厄を水に流し無病息災を祈願する情緒豊かな民俗行事。例年8000人を超える人出でにぎわう。（鳥取道河原ＩＣからR53）

6 真夏のひな祭り　兵庫県たつの市
しんぐう　☎0791・75・0548

奈良時代から瀬戸内海の港として栄えた同市室津では、真夏の8月下旬に「八朔のひな祭り」が開かれる。

440年前、室津の室山城が宿敵の急襲を受け落城。城主の弟の婚礼の夜で、花嫁も亡くなり、鎮魂のため半年遅れのひな祭り風習が残った。民家約30軒が秘蔵の人形を飾り、観光客を迎える。（山陽道龍野ＩＣからR179）

7 家宝のおひな様　滋賀県東近江市
あいとうマーガレットステーション　☎0749・46・1110

近江商人のふるさと・同市五個荘で2月1日～3月27日まで、外村繁邸、外村宇兵衛邸、中江準五郎邸（3館共通で大人600円、小人300円）など8カ所で、江戸時代から受け継がれてきた家宝のおひな様約100組が展示される。

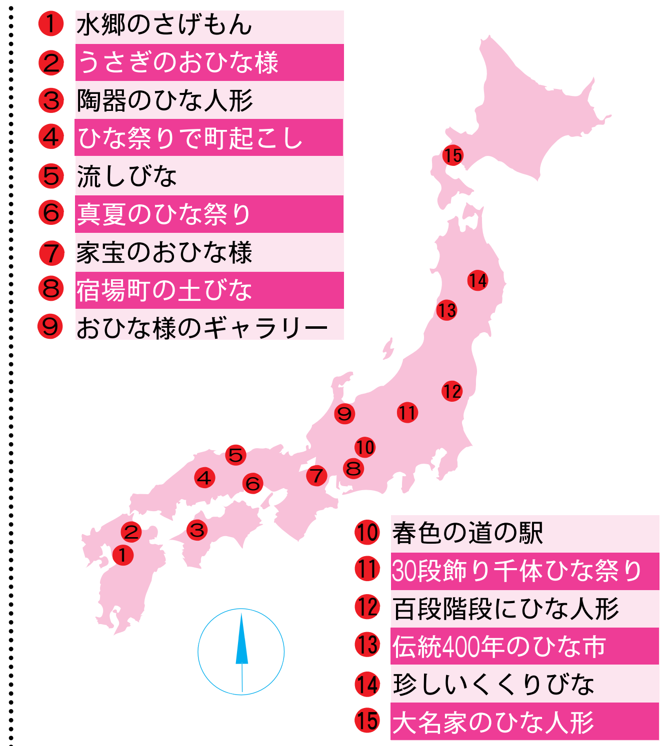
2月19、20日には外村繁邸で町の観光大使、地元の専門学校生がお姫様や五人官女にふん装した人間ひな祭り＝写真＝も開かれる。（名神高速八日市ＩＣからR307）

8 宿場町の土びな　愛知県豊田市
どんぐりの里いなぶ

（※おことわり／現在、「どんぐりの湯」と併設のレストランはリニューアル工事中で、電話は通じません）

2月5日～3月6日まで、同市足助で江戸時代から平成まで、さまざまな年代のおひな様が展示される。

土びな約100体が飾られる本町区民館や田町交流館、中馬館、足助交流館（すべて無料）、民家など約140カ所が会場となる。足助は古い町並みが続く中馬街道の宿場町、塩の道でもあった。（東海環状道豊田勘八ＩＣからR153）



9 おひな様のギャラリー　富山県高岡市
万葉の里高岡　☎0766・30・0011

3月12、13日に同市山町筋一帯で集中展示会場3カ所、商店、住宅など約100カ所でおひな様が展示され〝おひな様の町並みギャラリー〟となる。

山町筋は旧北国街道に沿って土蔵造りの家並みが残り、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。（能越道高岡ＩＣからR8）

10 春色の道の駅　岐阜県中津川市
賤母（しずも）　☎0573・75・5255

木曽路の入り口に位置する同駅では2月初旬から4月まで、地元の旧家から駅に寄贈された明治時代の土びな約30体を展示する。

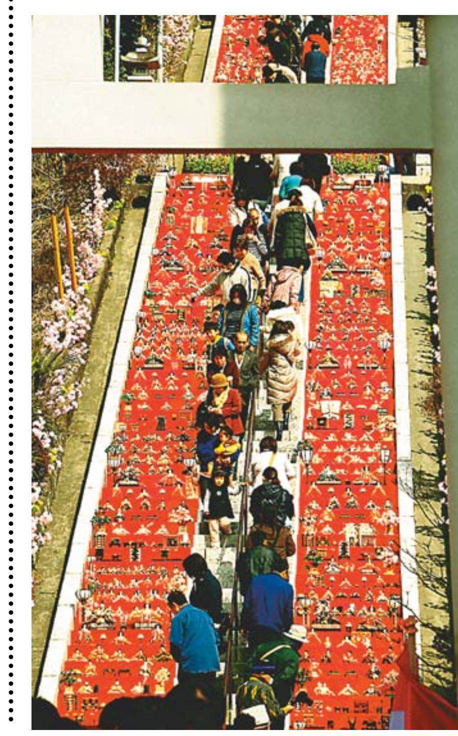
土びなは彩色されたものや素朴な素焼きで、内裏様や乃木将軍など明治時代の偉人像も含まれている。同時に紅白の餅を花に見立て、木の枝に飾りつけた華やかな花餅飾りで駅を春色にする。（中央道中津川ＩＣからR19）

11 30段飾り千体ひな祭り　長野県須坂市
オアシスおぶせ　☎026・251・4111

同市野辺の世界の民俗人形博物館（大人500円、小中学生100円）では1月29日～4月10日まで30段飾り千体ひな祭＝写真＝を開催する。市内の商店なども3月にはひな人形を店頭に並べる。

北信濃の各地にはおひな様を飾る伝統があり、須坂、小布施、山ノ内、松代、中野、千曲の6市町は、ぶらり北信濃ひな巡りイベントを3月3日～4月3日まで繰り広げる。（長野道須坂長野東ＩＣから村山小布施線）

12 百段階段にひな人形　茨城県大子町
奥久慈だいご　☎0295・72・6111



同町大子の十二所神社で2月27日、百段階段ひな人形展が開かれる。全部で101段ある階段はおひな様で埋まる＝写真。

同町商工会女性部が主催するイベント、家庭から寄贈された約1500体のひな人形が年に一日だけの晴れ舞台に登場する。地元の商店約70店も店頭におひな様を展示する。（常磐道那珂ＩＣからR118）

13 伝統400年のひな市　山形県河北町
河北　☎0237・72・2870

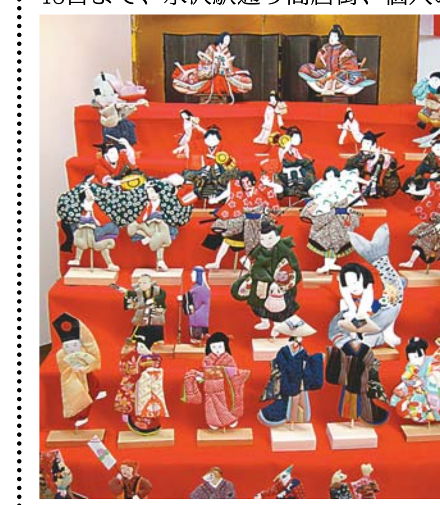
紅花の集積地として栄えた同町谷地で、4月2、3の両日開かれる谷地のひな市＝写真＝は400年の伝統を誇る。

ひな市にあわせ、紅花資料館（大人400円、高校生150円、小中学生70円）やおひな様展示会場、旧家5軒（一部有料）のひな飾りが公開される。旧家に現存する享保雛や古今雛などには、美術書の巻頭を飾る折紙つきの逸品が含まれている。

3月から4月にかけ同県内では酒田市中心の酒田ひな街道、鶴岡市中心の鶴岡ひな街道が観光客でにぎわう。（山形道東根ＩＣからR287）

14 珍しいくくりびな　岩手県奥州市
みずさわ　☎0197・26・3739

同市水沢の武家住宅資料館（無料）では2月1日～3月13日まで、水沢駅通り商店街、個人の住宅など約20カ所では2月26日～3月3日まで、それぞれくくりびなを展示する。



くくりびなは厚紙の上に綿を載せ、布で包んで押し絵に仕上げたおひな様。その背面に竹の串が付けられ、木製の台に串を刺して飾る珍しいおひな様＝写真。（東北道水沢ＩＣからR343）

15 大名家のひな人形　北海道伊達市
だて歴史の杜　☎0142・25・5567

銀世界の北海道で、一足早く春を感じられるのは駅のある伊達歴史の杜総合公園内の伊達市開拓記念館に展示されている伊達家のひな人形。

明治初期、宮城県から移住した亘理伊達家（仙台伊達藩の支藩）に伝わる伝統びなが展示されており、北海道では珍しい大名家のひな人形を見ることができる。3月3日は大人も子供も入館料が無料になる。（道央道伊達ＩＣからR37）

橋がつなぐ　みんなの未来
社団法人　日本橋梁建設協会
http://www.jasbc.or.jp/

橋がつなぐ みんなの未来

Bridges bring our brighter future.　vol.14

新シリーズ 道の駅と日本の橋 4

ひな祭りにも地域の特色が色濃く反映されているように、地域と結びつきの強い橋にも、住民の願い、名前、仕掛けなどさまざまな趣向がこらされています。

あなたの「気になる橋」をお寄せください。

読者の皆さまの気になる橋をご紹介ください。ご当地自慢の橋、その橋にまつわるエピソード、橋の疑問などなど、橋にまつわる事なら大歓迎です。

宛先
〒102-0075
東京都千代田区三番町7-1 朝日三番町プラザ
NPO人と道研究会「気になる橋」係

1986（昭和61）年に開通した県道岡山牛窓線の橋。連続箱桁橋で主径間は67.1m、全長は405m。旧永安橋と違い片側2車線のモータリゼーションに対応できる近代的な橋で、児島湾から数えて2つ目になります。廃止された旧永安橋は赤い鉄製アーチの橋で、地元民の間で存続運動が起きるほど親しまれていました。

新永安橋（しんえいあんばし）　岡山県岡山市
道の駅「醍醐の里」から約59km

日本三大奇祭の“西大寺の裸祭”で知られる高野山真言宗別格本山西大寺（観音院）の門前町として栄えた同市西大寺地区を流れる吉井川は岡山県の三大河川のひとつといわれていましたが、高瀬舟が往来した江戸時代には橋をつくることが禁止されていました。

その後時代も明治に入ると地元有志が木橋を架けましたが、架けるたびに洪水で流され、何回も架け替えを繰返しました。1932（昭和7）年に架けられた旧永安橋は橋を渡ったところが西大寺の門前でした。

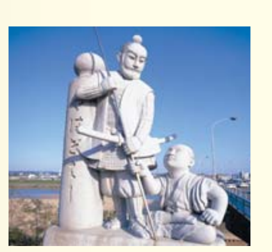
西大寺地区と岡山市街地を結ぶ大切なルート、橋が西大寺地区の繁栄を支えてきました。旧永安橋は幅員が狭く車のすれ違いもままならないため、旧永安橋の下流に新しい橋が架けられ新永安橋と名づけられました。

吉井川左岸で行われた、国交省発注の河川敷公園の工事中に大正時代の永安橋の橋脚が発見されました。地元では「西大寺の繁栄の足跡を後世に伝えたい」として2007（平成19）年に永安橋歴史記念碑を発見現場に建立しました。

橋のコラム　出会之像の行方は?
“お坊ちゃま”風の秀吉像の運命

中馬街道のひな祭り（愛知県豊田市足助）の土びなは、えびす・大黒・福助など笑顔が際立っていることで人気があります。足助を流れる足助川の本流・矢作川の矢作橋（同県岡崎市）には丸顔の豊臣秀吉像がありました。

矢作橋の上で寝ていた日吉丸（秀吉）を足で蹴った野武士の親方蜂須賀小六、それをとがめる日吉丸。太閤記の名場面を元にした「出会之像」（写真は岡崎市観光協会提供）です。秀吉といえば“サル面”が通り相場ですが、ここでは丸顔で“お坊ちゃま”風です。



橋は現在、国交省愛知国道事務所の手で“平成の矢作橋”に架け替え工事中、すでに下り線は供用され、全面供用は3月中ごろの見込みです。2年がかりの大工事で1日5万台の車が往来する国道1号の橋が面目を一新します。

江戸時代、矢作橋は東海道最大の橋だったそうで、歌川広重の東海道五十三次や葛飾北斎の諸国名橋奇覧にも描かれている歴史的な名橋です。

旧矢作橋北側にあった「出会之像」は工事の関係で一時撤去されています。橋周辺の様相が変わり、設置する場所は？費用は？などの難問に岡崎市観光協会など関係者が頭を痛めています。

最初の橋が架けられたのは秀吉没後の1601（慶長6）年、太閤記の話は単なる作り話。地元では「いつの時代でも橋は出会いの場、出会之像の復帰を、お坊ちゃま顔の秀吉像をまた見たい」の声が高まっていますがさて。

旅人　橋之助

銀河大橋（ぎんがおおはし）　岩手県花巻市
道の駅「みずさわ」から約32km

国道4号花巻東バイパスの北上川と猿ヶ石川を渡る花巻北大橋（仮称）の開通を前に橋の名称を公募したところ、宮澤賢治の代表作のひとつである童話「銀河鉄道の夜」からとられた銀河大橋、花巻銀河大橋、銀河中央橋などの銀河がつく名が多く集まりました。「銀河」という言葉は、もちろん花巻の人たちばかりではなく私たち日本人の多くに愛されています。

神奈川県や佐賀県にも同じ名前の「銀河大橋」がありますが、本家本元は花巻の銀河大橋です。この橋からは賢治も見ていた早池峰山など北上山地や奥羽山脈の山々を遠望できます。

地元では2002（平成14）年10月に部分開通したとき、「銀河大橋ふれあいフェスタ」を開催し、未来への架け橋となる銀河大橋完成を祝いました。花巻東バイパスは花巻市内を通過する国道4号の交通渋滞を解消し、花巻空港、東北縦貫自動車道、東北横断道釜石秋田線、東北新幹線駅への接続性を高めるなどの役割を果たしています。

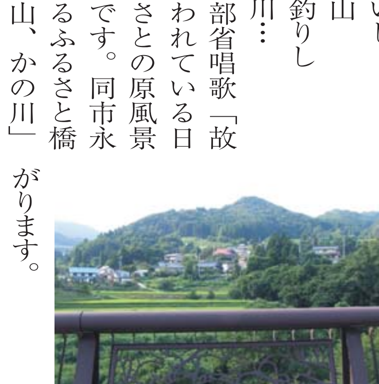
花巻東バイパス（全長8.3km）は2002（平成14）年に部分供用を開始、2008（平成20）年に全線開通しています。銀河大橋は橋長532m、北上川を横架する区間の銀河大橋はランドマーク性を持たせたローゼ橋を採用し、空色に彩色され、地域の象徴となる橋となっています。

ふるさと橋　長野県中野市
道の駅「オアシスおぶせ」から約17km 「ふるさと豊田」から約2km

♪兎追いし
かの山
小鮒釣りし
かの川…

これは文部省唱歌「故郷」に歌われている日本のふるさとの原風景そのものです。同市永江に架かるふるさと橋は「かの山、かの川」が一望できる橋として有名で、シーズンには観光バスが絶えません。

この歌を作詞した高野辰之は同市永江の生まれで、少年時代に野山で遊んだ情景を懐かしんで作詞したとされています。橋の上に立つと、なだらかに起伏する里山、広がる田んぼの流れ、遠くには太平山、斑尾山がそびえ、歌詞のままの風景が広がります。



橋の近くには高野辰之記念館があり、記念館を起点にしたふるさと遊歩道が整備されています。唱歌「朧月夜」ゆかりの真宝寺を経てふるさと橋まで歩くと約10分。橋のらん干には「故郷」のメロディーを演奏できる鉄琴が備えられています。橋を訪れた人は鉄琴を演奏しながら「忘れがたき故郷」の想いに浸ることができます。

1997（平成9）年完成した連続鈑桁の橋で、主経間34.5m、全長は90m。県道飯山妙高高原線のバイパス部分に架けられています。この橋のおかげで上信越道豊田飯山ICへのルートが便利になっています。ふるさと橋近くの川岸に歌碑「春の小川」があり、その他にも「故郷」「紅葉」「朧月夜」の歌碑がふるさと遊歩道沿いにあります。

こんにちは

道の駅 どまんなか たぬま
篠原 敏秀駅長（65）
＝栃木県佐野市吉水町366－2
☎0283－61－0077

日本一親切な駅を目指して

2001年11月1日、栃木県道16号（佐野―田沼線）沿いにオープンした道の駅「どまんなか たぬま」というユニークな駅名は、日本列島の中心地、つまり「どまんなか」が佐野市田沼地区に位置することに由来する。

市の東端部には万葉の東歌に詠まれるほど山容の美しい「三毳山（みかもやま）」が聳え、南を渡良瀬川の流れる緑と水に恵まれた土地柄。

足尾銅山の鉱毒問題に取り組むなど波乱に富んだ人生を送った田中正造（1841～1913年）の出身地でもあるが、篠原駅長は「この駅は目配り、気配り、心配りを徹底した接客サービスによって、来訪者にまた是非来てみたいと言って戴ける日本一親切な道の駅づくりを目指しています」と胸を張る。

駅のキーワード『新鮮！おいしい！たのしい！満点ステーション！』の筆頭格は「佐野ラーメン」と「いもフライ」で、セルフレストラン「ぱなパナ」で楽しめる。腰が強く、さっぱり味が売りの「佐野ラーメン」（500円）は湿度の低い冬と内陸型の蒸し暑い夏、良質の水、そして青竹打ちという独自の製麺技法のなせる逸品。蒸したジャガイモを串刺しにして揚げ、特製ソースをかけた「いもフライ」（2本150円）もホクホク感が旅路のすいた小腹にありがたい。

イタリアン・ジェラートショップ「ジェラート倶楽部」では、ジャージー牛乳を使ったブルーベリーマーブルジェラートが280円。中華料理店「花と華」では旬の野菜や地場産の素材をふんだんに使用した本格中華料理を堪能できる。

「いい品質のものを適正価格で売り続けるポリシーの下、オープン以来、価格はずっと据え置きなんですよ」と篠原駅長は打ち明けた。

また、農産物直売所「朝採り館」では野菜だけではなく、粒が大きく光沢のある果皮のイチゴ「とちおとめ」や生わさびなど、地域産のこだわり商品が数多く揃えてある。

観光スポットとしては「関八州随一」と賞賛される唐沢山ハイキングコース、佐野厄よけ大師（春日岡惣宗寺）をはじめとした東北関東自然公園などがある。3月に入ると万葉自然公園「かたくりの里」で可憐な紫色のカタクリが、白い花を付けるアズマイチゲと競うように咲き乱れる。

話題の道の駅

道の駅「きくすい」

九州自動車道菊水インターを下り熊本県玉名市方面へ県道16号を2キロ走った道沿いに位置する。清流と緑豊かな自然の中で古墳時代の歴史ロマンに満ち、全国の道の駅でも珍しいカヌー体験施設を整え、そして温泉でくつろげる。まさに1日ゆったり家族で楽しめるスポットである。

貸しボート感覚でカヌーを体験できる施設「カヌー館」は駅の裏手、江田川に面してある。1人乗りと2人乗りのカヤックなど貸出艇を用意し、初心者でも経験豊かなインストラクターが手ほどきしてくれるので安心。江田川から九州最大規模の木橋といわれる「若園橋」をくぐって主流・菊池川に出て、川面の目線で自然と触れ合うひとときはアウトドアスポーツならではの魅力だ。基本料金はパドル、ライフジャケットなど装備付きで1人艇が1050円、2人艇1575円（税込み、以下同）。ただ10月～3月は菊池川の堰が開いて水量が減り、天気も寒すぎたりするので体験プランが変わることがある。あらかじめ駅に問い合わせ、予約することが必須。

駅から南へ5分ほど歩けば「肥後古代の森」。ここには5世紀後半から6世紀前半にかけて築造された清原（せいばる）古墳群がある。その古墳4基のうち特に国宝・江田船山（えたふなやま）古墳（全長61㍍、高さ7・5㍍）が有名だ。明治6（1873）年出土した太刀に銘文75文字が銀象嵌（ぞうがん）されており、5世紀当時の中央政府と地方豪族の政治関係を表す最古の記録文字として知られる。学校の教科書でおそわった方もいよう。

実は道の駅が入っている建物は「菊水ロマン館」と言い、その2階建ての形を上空から見ると前方後円墳を模した鍵穴型になっている。同館は天然鉱石・光明石を泉源体とした温泉を2階に設け、1階の物産館には生産者名の入った朝採りの新鮮な野菜や果物を並べている。国産大豆100%に本にがりを使用したこだわり豆腐を1階で実演販売し1個272円の「よせ豆腐」は一番人気だ。

肥後古代の森からさらに5分、足を延ばすと「肥後民家村」がある。ここに熊本県玉東町と和水町から移築された江戸末期の古民家2軒は宿泊（1棟4人まで1泊1万円）や休憩（3時間1000円）ができ、五右衛門風呂やかまど炊きといった昔懐かしい暮らしを体験できる。ここも駅に予約が必要だ。

◆道の駅「きくすい」熊本県玉名郡和水町江田455▽菊水ロマン館：物販9：00～20：00、レストラン11：30～20：00、温泉9：00～21：30▽休館日12月31日、1月1日☎0968―86―3100

道の駅の「情報発信」についてのアンケート

道の駅は、間もなく全国1000カ所になろうとしています。今号では、道の駅の話題や周辺地域の魅力など「情報発信」について、お尋ねします。

本紙は、道の駅ファンの読者にボランティアで「道の駅を旅するルートプレス記者」になっていただこうと、全国道の駅に記者がいることを目標に1000人を募集します。情報発信に協力したい、新聞づくりに参加したいという方は、ぜひご応募ください。記者証を発行し、記者仲間の交流の輪を全国に広げたい、と考えています。

Q1. 道の駅について、家族や友人、知人などと話題にすることがあれば、どんな話をしますか。（回答は２つまで）
①産直品など地元産品　②レストランやトイレ、駐車場など施設
③観光など道の駅で得る情報　④周辺地域の歴史や地理、文化など
⑤道の駅が災害時に果たす役割　⑥イベントなど催事
⑦その他（　　　　　）

Q2. そうした話題について、他の人にも伝えたいと思いますか。
①人に話をするのは好きだから、情報を伝えたい　②話すのは苦手だが、書いて伝えるのは好き　③インターネットで不特定多数に情報を伝えるのは好き　④人には伝えずに、自分だけの情報として持っておきたい　⑤その他（　　　　　）

Q3. ルートプレス紙の「読者の声」やアンケート、プレゼント、パズルなどに投稿したことがありますか。
①「読者の声」に投稿したことがある（　　回くらい）　②アンケートに回答したことがある（　　回くらい）　③プレゼントやパズルに応募したことがある（　　回くらい）　④投稿したことはないが、今後、投稿してみたい

Q4. 「道の駅を旅するルートプレス記者」に興味がありますか。
①興味があり応募したい　②興味はあるので検討したい
③興味はあるが応募までは考えない　④興味はない

Q5. 「道の駅を旅するルートプレス記者」に応募したい、または応募を検討すると答えた方は、どこの道の駅での登録を希望しますか。
道の駅名「　　　　　　　」（　　　県）

Q6. この新聞はどこの道の駅で手に入れられましたか
道の駅名「　　　　　　　」（　　　県）

ホームページ（http://www.route-press21st.jp）

応募方法	ご回答は回答用紙に記入し、枠に沿って切り抜き、はがき等に貼付し投函してください。ホームページからも回答できます。
締切日	平成23年３月15日
送付先	〒102‐0075　東京都千代田区三番町７－１　朝日三番町プラザ　ＮＰＯ法人　人と道研究会　宛

道21世紀新聞では、毎号「人と道」に関する読者のご意見を募集し、人と道のあり方を共に考えるコーナーを設けています。第31号は『道の駅の情報発信についてのアンケート』を実施します。

寄せられたご意見は、道21世紀新聞でご報告させていただくほか、行政や「道の駅」関連諸団体にも提供し、今後の「道の駅」ならびに近隣地域活性化に供する資料として活用いただくことを働きかけます。ご回答はすべて統計的に処理し、結果のみを公表し、個人を特定できるデータを外部に開示することは一切いたしませんので、どしどし遠慮ないご意見をお寄せください。

なお、今回のアンケート回答者の中から抽選で30名様に記念品を贈ります。

「人と道」を考えるアンケート

ご意見をお寄せください！

第31号『道の駅の「情報発信」についてのアンケート』回答用紙

Ｑ１：　①　②　③　④　⑤　⑥
⑦（　　　　　　　　）
Ｑ２：　①　②　③　④
⑤（　　　　　　　　）
Ｑ３：　①（　回くらい）②（　回くらい）③（　回くらい）
④
Ｑ４：　①　②　③　④
Ｑ５：　道の駅名＿＿＿＿＿＿（　　　県）
Ｑ６：　道の駅名＿＿＿＿＿＿（　　　県）

お名前：＿＿＿＿＿＿（フリガナ：　　　　）
郵便番号：〒
ご住所：
お電話番号：　（　　）
メールアドレス：（　　　　）
性　別：男・女　年齢：　歳　職業：＿＿＿＿
通信欄（その他ご意見等がありましたらご記入下さい）

ファイト！道の駅の挑戦

岩手県一関市は岩手の南の玄関口である。東北自動車道に一関インターで別れをつげ、東へ20キロほど走ると、国道284号沿いの道の駅「かわさき」に着く。北上川にかかる北上大橋のたもと。昔懐かしい「おふくろの味」のそうざいや郷土菓子の並ぶ店内は、客でにぎわっている。

道の駅「かわさき」
「大橋がんづき」地元おやつ人気

■経営形態＝中小企業等協同組合法人「ドンと市かわさき協同組合」（佐々木正義理事長）運営
■営業時間と定休日＝午前9時～午後7時（12月～2月は午後6時）、年中無休
■駐車＝普通67台、障害者用4台、大型13台
■東北自動車道一関ＩＣから国道342号～同４号線～同284号を経て車で約30分
■〒029－0202　岩手県一関市川崎町薄衣法道地42の３（☎0191・36・5170）

北上川、砂鉄川、千厩川の3河川に囲まれた一関市川崎地区（旧川崎村）は、古くから交通の要所として栄えた。源頼義軍が地元の豪族を攻めた「前九年の役」の古戦場「河崎の柵」（1057年）も近い。

駅のメイン施設は直売所「ふれあいドンと館」。木をたっぷり使った木造大断面構造で、広々としている。「人気は加工品です」と駅長の千葉勝雄さん。ミネラルをたくさん含む健康野菜「ほどいも」や北上川でとれるモクズガニのスープなど自慢の味も。県南で比較的暖かく、近郊農家から運ばれるハウス野菜など彩りはゆたかだ。

とくに人気は「大橋がんづき」。名前だけでは見当つかない。県内で昔から食べられていた「おやつ」である。卵、砂糖を混ぜた小麦粉に重曹を加え、蒸す。ふんわりし、スポンジケーキのよう。くるみ、ごま、味噌の3種類で味付けする。地元の農家女性グループが作り、駅に持ち込んだところ上々の評判で、いまではデパートやスーパーでも売られるほど。2006年に日本農業新聞主催の「一村逸品大賞」で金賞をもらっている。

がんづきの形は土地によってばらばら。角切りのほか、「かわさき」は直径13センチ前後のまんじゅう状。くるみやゴマで茶色っぽい。ゴマが満月を背景に飛ぶカリのようだとか、味がカリの肉に似ているとか、名前の由来は諸説あるらしい。

鮮度一番に商品開発

天井の高い店内には、とれたて野菜がたくさん＝道の駅「かわさき」

駅は地域活性化のため旧川崎村などが投資して2003年オープンした。経営は、農家など個人経営をする事業者151人が出資する中小企業等協同組合法人が担う。この独立採算制をとるのは、岩手県内の道の駅では2店舗だけ。自らの営業努力はじかにはね返る。このため、野菜不足になる冬場にむけハウス栽培を導入、毎年2月に自治体とタイアップして栽培技術講習会を開き、種苗会社の担当者を招いて売れ筋野菜講習会などに取り組む。3年前に始めたメタボリック対策用のアイスプラント野菜は、東北各地からも注文を集めるまでになった。

企画も多彩に工夫する。トウモロコシ狩りやそば打ち体験（7月）などのグリーン・ツーリズム、愛媛県宇和島産のデコポンや宮城県気仙沼産の海産物市など産地間交流まつり（3月）で人をよぶ。当初、2億円も売り上げれば御の字といわれていたのに、倍以上の数字になっているから成功だ。東北各県をはじめ、関西や名古屋方面からも客が来る。「鮮度一番、忘れられない味、健康第一主義で、しかも、商品開発に力を入れながらやっていきたい」と千葉さんは張り切っている。

国土学事始め

大石久和
早稲田大学大学院
客員教授

ツーピース型ETCの利点

高速道路などの有料道路を通過する際に、少し徐行をしなければなりませんが、止まって現金のやりとりをすることなく料金の支払いができるETCが著しく普及しています。バイクのETC利用者も急増しています。バイクの場合は、ETC利用による利便性の向上が自動車をはるかに上回りますから当然のことかもしれません。

首都高速道路などでは、利用車の約90%がETCを使っています。このように便利に使われているETCですが、導入のはじめの頃には、テレビの番組などでさんざんに批判されました。その際に、よく引き合いに出されたのは「アメリカでは簡単な装置を有料道路会社が無料で提供しており、フロントガラスに貼り付けるだけで利用できる」「ETC装置が高すぎる」というものでした。

しかし、アメリカのシステムでは、車と運転者とを別個に識別できません。したがって、アメリカでは誰かが車を乗り回せば、車の所有者に請求が来てしまいますが、日本ではETCカードを抜いておけば、支払いが回ってくることはありません。

日本方式の車と人を別個に識別する方式を、ツーピース型と呼んでいますが、ETCゲートでは、車の識別とETCカードの内容という二つの読み取りと書き込みを瞬時に行っています。

アメリカでは装置をただでくれるといっても、装置はただでできるものではありませんから、当然のことですがその費用は有料道路料金に含まれているのです。また、当初は高いとおしかりを受けていたETC装置も普及につれ急速に価格を下げました。

おまけに、アメリカでは簡単な装置を付けるだけとはいえ、有料道路ごとに別個の装置を付ける必要があり、場合によってはいくつも付けなければならないのです。

わが国では料金所渋滞はまずなくなり、お金を払うために時間や燃料を浪費するというもっとも腹立たしいことは、この装置によって解決しました。また、最近の土日割引なども、ETCが普及したからこそ容易にできるようになったのです。

このように、ETCという「装置」によって、柔軟な料金設定という「制度」の導入が可能になったのでした。

なるほどブリッジ ⑬

立ち止まり、時を過ごす　東橋

富山県射水（いみず）市の内川（運河）は海岸線と並行に流れ、富山新港（かつての放生津潟）と万葉集にも詠われた奈呉の浦を結んでいる。漁船がずらり係留され、川沿いには土蔵造りの倉庫や民家が軒を接するように連なって港町独特の風情をつくりだしている。

内川（全長1850㍍）には大小15の橋がある。赤い屋根の歩行者専用の東橋＝写真＝は「渡るだけでなく、立ち止まり、時を過ごす憩いの橋」という設計思想のもとに造られている。橋の側面は開放され、その上を切妻屋根が覆い、橋の両端にはガラスで覆われた展望休憩所があるなど、橋の機能に住居や遊びの空間がプラスされている。

このほかステンドグラス72枚で飾られた神楽橋、彫刻4体が取り付けられた山王橋、射水ゆかりの室町幕府第10代将軍足利義材の騎馬像を配した放生津橋など個性溢れるデザインの橋がある。

川沿いの遊歩道を散策しながらの橋めぐりもできるが、代表的な橋11橋を巡る内川遊覧船が通年で運航されている。

第30号読者アンケート結果：『道の駅と防災について』

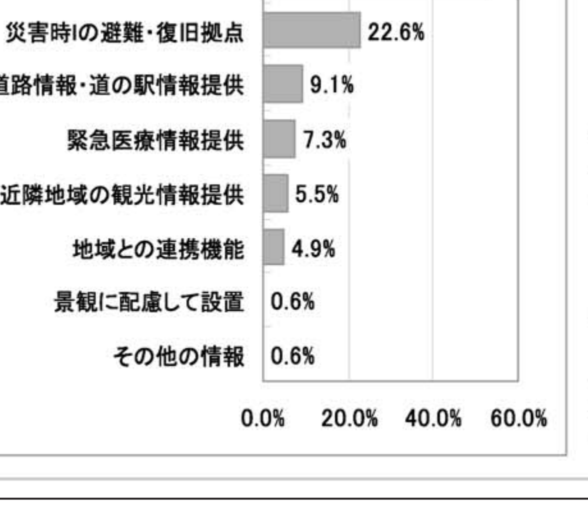
中越地震の際、道の駅が防災拠点として大きな力を発揮した事から、道の駅の機能として災害時の防災拠点が注目を集めているが、今回の読者アンケートも『道の駅と防災』についてお聞きし、328名の方から回答を得た。

道の駅の機能で知られているのは！

知っている道の駅の機能は、①「休憩施設機能」が97.0%で最も高く、次いで②「近隣地域の観光情報提供」91.5%、③「道路や隣接道の駅の情報提供」82.3%がベスト3で、④「地域との連携機能」「その他利用者の利便に供する情報」各48.8%、「災害時の避難・復旧活動拠点」という機能は43.3%で第6位で、認知率は過半数に達しておらず、防災拠点という機能の認知度はまだ低いのが現状のようだ

道の駅の最も重要な機能は！

また、道の駅の機能で最も重要なものとしては、「休憩施設機能」をあげた人が52.4%で最も多く、「災害時の避難・復旧活動拠点」をあげた人は 22.6%で、認知度で上位だった「道路や隣接道の駅の情報提供」9.1%、「近隣地域の観光情報提供」5.5%、「地域との連携機能」4.9%を大きく上回り第2になっている。。



災害時に必要な道の駅の避難設備・機能は！

道の駅が持つべき災害時の避難設備・機能としては、①「備蓄食料・飲料の配給」回答した人が66.5%でもっとも多く、以下、②「被災情報の発信」59.8%、③「応急処置医療品」43.3%、④「簡易宿泊設備（避難テント）」41.5%、⑤「帰宅難民車両の受入及び運転者の受入」36.0%、⑥「簡易入浴設備」15.9%の順であった。

車に常備している防災用品は！

災害を想定して車に常備している防災用品については①「道路地図帳」58.5%、②「照明器具（懐中電灯）」57.3%、③「飲料／菓子類」42.1%、④「毛布等防寒具」34.1%、⑤「携帯電話用充電器」25.6%、⑥「携帯型トイレ」12.2%、⑦「携帯ガスコンロ」5.5%の順になっており、「カーラジオ以外積んでいない」という人は15.9%であった。

また、「その他」では、ビニール袋、ビニールシート、新聞紙、タオル類、ラップ、保温シート、口腔衛生器具、タオル、ぬれティッシュ、三角巾、箸、ローソク、爪切り、手廻しラジオ、シートベルト切断器具、窓ガラス破りのハンマー、消火器、着替え、ヘルメット、軍手、アマチュア無線機、広帯域受信機などの回答があったので、参考にしていただきたい。

グリーン・ツーリズムの喜び
子供らも"完成期"の人も

「私にとってのグリーン・ツーリズムは、人生のハッピーエンド」。大分県で農家民宿を営む時枝美佐子さんは、これまでの長い人生における苦労が、グリーン・ツーリズムによって活かされたと語る。

全国の輝く農林漁家民宿のおかあさん百人を選出したが、ほかにも、素朴な佇まいの民家を「心のふるさと」として人を迎え入れる、実に人間的な「おかあさん」や「おとうさん」「おじいちゃん」「おばあちゃん」がいる。

グリーン・ツーリズムは、人生を豊かに安らかに送るかも大きな課題である。家族や地域社会、職場で精力的に働き、人のために身を粉にした方の急逝を目の当たりにした時、私は今この命を失ったとしても一悔いのない人生だったと」と、旅立つことは、とても大事な次世代教育である。

他方、人生の「完成期」を迎えた人々が、様々な環境や自らの心身の状況に応じて、どのように人生を豊かに安らかに送るかも大きな課題である。家族や地域社会、職場で精力的に働き、人のために身を粉にした方の急逝を目の当たりにした時、私は今この命を失ったとしても一悔いのない人生

農村の随所に「神」が…

だった」と、旅立つことは、次世代を担う若者や子供たちに、命の重さや尊さを教え、心の通う人間交流の魅力を伝えるという重要な意義を有している。国もその必要性を認識し、「農山漁村子ども交流プロジェクト」を数年前に立ち上げた。小学生が、農山漁村で豊かな「農」の営みを学び、生きる勇気を体感することは、とても大事な次世代教育である。

他方、人生の「完成期」を迎えた人々が、様々な環境や自らの心身の状況に応じて、どのように人生を豊かに安らかに送るかも大きな課題である。家族や地域社会、職場で精力的に働き、人のために身を粉にした方の急逝を目の当たりにした時、私は今この命を失ったとしても一悔いのない人生

かげがえのない伴侶が「余命○年」と宣告され、治療のために退職を決めた職場の同僚。「死の予告」を夫婦でしっかり受け止め、向き合いながら人生のフィナーレを作り上げる旅に出たいという。

『手入れされた農村風景の美しさ』の背景には、その土地への愛着の下で、日々目立たない『手間』があり、その結果の表象が風景である、と写真家の乾祐綺氏は言う。九州の村々のグリーン・ツーリズム実践者を撮り続ける彼は、取材の際は必ず、その人の生き方を聞きとるという。

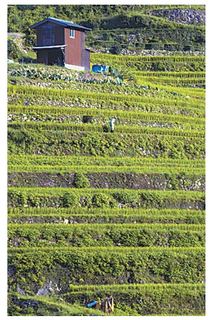
そうした『生き様』の重みが、紙面いっぱいに広がる『笑顔』として表現される。正に命を体現している『人』が、『人間』として社会的な関係の中で豊かに生き、その素直に自らの人生を重ね合わせたのだろう。

心のふるさとで人を迎える
おかあさん、おとうさん、おばあちゃん、おじいちゃん

熊本県南小国の農村風景

熊本県人吉の民泊『稲荷さんの宿　遊庵』懐かしい古民家に宿泊できる。左はオーナー・椎葉さんの家族

★12、13面の写真は雑誌『九州のムラへ行こう』より・撮影／乾祐綺さん


「棚田100選」の一つ（福岡県星野村）

民泊『畑暦』　仲睦まじい佐藤さん夫妻が営む

リーン・ツーリズムの妙味と底しれない魅力は、そうした人間の根源的な価値としての「命と心の紡ぎあい」に迫ることにある。

姑の辛い仕打ちに耐えかねた嫁であった女性とたまたまある民宿で飲み交わしたことがある。姑に刃物を向けて自らも死のうとして死きれなかった彼女は、「死ななくて本当によかった！」と杯を手にして語った。

自らの恥ずべき過去を他人に語ることは辛い。だが幼くして母を失い、民宿の「おかあさん」に思いを託した彼女は、母の包みこむ愛情に顔を埋める乳飲み子のように、素直に自らの人生を重ね合わせたのだろう。

自らを見つめ　共に思いを交わす
人生を生き抜く旅

旅館やホテルでの滞在では味わえない、人間的な交流。心を開き、心を交り合わせる。「お帰りなさい！ただいま！」、「行ってきます！行ってらっしゃい！早く帰っておいで！」。

この頃あちこちの民宿で、こんな会話をよく耳にする。サービス用語の「いらっしゃいませ、今日は！」とは異なる心の通いあいが、多くの人々に広がっている。

そう言えば幼少の頃、帰り際に田んぼのあぜ道で、横一線に並び手を振ってくれた祖父母や叔父叔母や従兄弟たちは、米粒のようになるまで見送ってくれた。「なにやさしいのだろう？」と思ったものだった。

『ゆっくりサポッテン　馬場のてっちゃん家』で（熊本県人吉）

お帰りなさい！ただいま！

オーナー・樅木夫妻が栽培するフルーツトマト

病苦に耐えて

父の実家を家族で訪れ、ぜんぜんあんなにいい人たちなのだろう？辛い農業をしているのに、どうして人

グリーン・ツーリズムの実践者の多くは、その長い人生の中で、病苦に耐えた人が少なくない。大病や難病に向き合い、家族が支え合ってそれを乗り越えてきたからこそ、他人を迎え入れる懐の深さが身に付いたのだと思う。

急ぐ旅ではなく、ゆったりとした時の流れに身を任せ、自らを見つめ、共に思いを交わし、人生を「生きぬく旅」。必死に生き抜いてきたことへのご褒美の旅。「人生の終着駅」ともいうべき、人生の最後を作り上げる旅。まさにその「感動物語」は、グリーン・ツーリズムという「農の夢追い人」との出会いで始まる。

多くの人々が、そうした「豊熟の歓喜」を体感できる。それこそが本当の豊かな社会の証であろう。

「生きていてよかった！」その歓喜の言葉を共有できる場を作り、そして次世代に繋いでいきたいものである。

（東洋大学社会学部長・青木辰司　NPO法人日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター代表理事）

ハロハロ 16
国土交通省顧問
谷口　博昭

パートナーシップ再構築

新しい世紀も1年目に入りました。デフレや円高などで雇用をはじめ経済不安が長引き「国の将来ビジョンが見えない」などと言われますが、新たな年の始まりこそ、未来の国の形を再考する好機だと思います。

新世紀のライフスタイルや産業構造に相応しい社会基盤の整備を進めなければなりませんが、厳しい財政事情から、かつてのような公共投資は難しいと想います。しかし、国際競争が激化しグローバル化が進む中、日本だけが委縮していては世界に後れます。

少子高齢化や人口減少を抱えて難しい課題ですが、ここを突破するには産学官のパートナーシップを再構築するしかないと考えています。

私の家は真言宗で、小さい頃から曼荼羅を見ていました。大日如来を中心に生きとし生けるものが重層的な世界を織りなしている構図は、今思えば「共生」の思想の可視化のように感じます。

私がキーワードと思うパートナーシップは、政と官、国と地方、官と民などの対立構造でなく、役割分担を明確にした曼荼羅世界のような新たな「共生」の在り方です。

大きな価値観を共有し、長期的なインフラ整備を考えたいものです。

「すべての道はローマに通ず」と言われたローマ帝国は、地中海沿岸に今でいう高速道路を8万キロ建設しました。国を発展させるのは国家の仕事で、道路は国家発展の基礎です。日本は「道の文化」と言われ、街道を中心に地域社会を形成し、発展してきました。

今でも道路整備の必要性が高い地域は沢山あります。高規格の幹線道路整備は、地域格差是正にも重要な施策です。希望の持てる日本を取り戻すため、新たな10年の国土のあり方、その基盤造りを熟考しましょう。

◇　◇

新年を機に、技監時代に連載した当コラムを再開します。事務次官在任中は休載しましたが、新たな視点で国土の未来を見つめ直すコラムを、ぜひご愛読ください。

あちこちの民宿でこんな会話が

大分県安心院の中山ミヤ子さん80。グリーン・ツーリズムの先駆者の一人。星野村の後藤富美子さんと

道の駅のおすすめプレゼント

▶応募方法

●プレゼント希望の方は希望商品番号（1～4のうち1点）を記入し、①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧この新聞を手に入れた場所⑨今月号で一番良かった記事⑩その他のご意見・ご感想を官製はがきに明記し、〒102-0075 東京都千代田区三番町7-1 朝日三番町プラザ NPO法人 人と道研究会宛、3月15日必着でお送りください。発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

※プレゼントに応募されたお客様の個人情報は「人と道研究会」が厳重に管理し、プレゼントの提供のため、および「人と道研究会」からのご案内に利用させていただきますが、これ以外の目的で第三者に提供することはありません。

①おいしい「富山米コシヒカリ」を5名に

富山平野の肥沃な大地は、8～9月の平均気温が約25度。コシヒカリが最もおいしく実る気温のうえ、立山連峰の清らかでミネラル豊富な水に恵まれています。

ご提供申し上げます富山米コシヒカリ5キロパック「ひぞっこ倶楽部」は、（株）JAライフ富山米穀事業部が厳しい品質管理のもとに精米、袋詰めし、消費者の皆様に直接お届けする産地直送精米です。

提供：JA全農とやま
http://www.ja-town.com/

②富山和子がつくる日本の米カレンダーを20名に

各地の米づくり風景を美しい写真と格調高い文でとらえ、「日本人の心のふるさと」の大切さを訴え続け、多くのファンに支持されてきた名作カレンダー。2011年版は22年目の作です。

茨城県つくばの「食と農の科学館」では毎年、この日本の米カレンダー展が開かれ、昨年夏は天皇皇后両陛下おそろいで行幸啓遊され話題になりました。

提供：株式会社サン制作
問い合わせ：☎03―3669―8376

③小冊子「みやざきの神話」を20名に

地域資源を生かした新しい観光ルートづくりを進めている「日本風景街道」運動の一つ、宮崎県「日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会」の作品です。

日本人のだれにも親しまれながら、案外詳しくは知られていない天地創造、国生みなど神話の国宮崎にたくさん伝わる伝承を、ロマン豊かな切り絵入りのわかりやすい文でつづっています。

提供：同協議会
問い合わせ：☎0985―55―4811

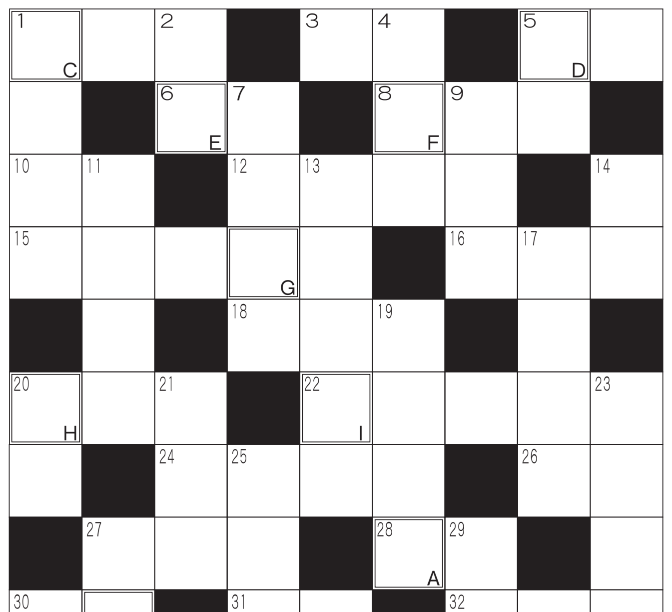
④山内縄文そば（4人前）を5名に

山内（さんない）は国内有数の縄文遺跡の発掘地で、遙かいにしえの縄文時代からそばが食されていた文献が土地に残っています。その山内産のそば粉を使い、伝統的な手作りの味を残しました。こしが強くて伸びにくいので、普通のそばより10センチ長くなっています。

そば粉本来の素朴な味、豊かな風味、舌ざわりやそば湯まで、縄文そばのすべてをどうぞご家庭でお楽しみ下さい。

発売元：ウッデイさんない
提供：秋田道の駅さんない
☎0182―56―1600

クロスワード 人と道パズル



問題制作・てらこ（ゼロページ） http://ZeroPage.jp

★ヨコの鍵

1、大学○○○に講義の内容を書き留める
3、信号で「止まれ」を示す色です
5、ペットのお食事
6、「チュッ」愛の証に…
8、顔にできるコレは青春の証
10、暖炉で燃やす
12、無くて○○○○
15、カジノゲームの1種です
16、ハリー・ポッターは魔法○○○です
18、町立く○○○く市立
20、東京・名古屋・福岡…と、室内で野球が楽しめる
22、餃子でおなじみ、栃木の地といえば？
24、花嫁のパートナー
26、今、すぐ
27、とりあえず飲んでみて
28、お金ないけれど、あるフリ
30、声出す、食べる、顔の一部
31、罪と○○
32、ハートでもなければスペードでもクラブでもない

★タテの鍵

1、正常かな？
2、○○は金なり
4、「果肉」何と読む？
5、○○で鯛を釣る
7、気軽にお酒が飲める場所かな？
9、春だったり夏だったり…
11、サッカーでゴールを守ります
13、NaCl＝塩化○○○○○
14、出る○○は打たれる
17、蟹から取れる珍味といえば？
19、ボケの相方といえば？
20、水混じりの土といえば？
21、負けなし
23、ステージで大活躍
25、大阪、よしもとのグランド花月がある地といえば？
27、ナナだよ
29、木十支＝？

▶応募方法

●クロスワードパズルの答A～Iを記入し、①氏名②郵便番号・住所③電話番号④性別⑤職業⑥年齢⑦趣味⑧この新聞を手に入れた場所⑨今月号で一番良かった記事⑩その他のご意見・ご感想を官製はがきに明記し、〒102-0075 東京都千代田区三番町7-1 朝日三番町プラザ NPO法人 人と道研究会宛、3月15日必着でお送りください。パズルの正解者には抽選で30名様に記念品をプレゼントします。

30号の正解は
「ボウサイキョテン」でした

道の駅文庫

「人は成熟するにつれて若くなる」とヘルマン・ヘッセは言っています。

私たちもそのように成熟しながら、健康で、楽しく、美味しく暮らし、いつまでも若々しい気持ちで人生の道を歩いていきたいものです。

道の駅文庫は、そのような視点から、太陽や風を感じられるすぐれた図書を選定し、ご案内いたします。

「季刊地域」

農文協

雑誌『現代農業』の別冊増刊号が、2010年5月から「季刊地域」と誌名を変え、A4の大判になり11年2月号で第4号となった。私は、別冊増刊号時代からの愛読者で、この雑誌を編集している農文協の甲斐さんとは旧知の間柄である。

若い人を中心に活字離れが指摘される昨今、農業や農山村に視点を据えた雑誌を発行し続け得ることは、難儀なことではないか、と思う。「地域」ということに編集の視点をより明確にすることで、読者層を広げられればいいかな、と陰ながら応援している一人でもある。

「いま、政治や経済がいかにゆるごうと『ゆるがぬ暮らし』『ゆるがぬ地域』をつくり出そうとするさまざまな実践が各地で行われています。本誌は、そうした人びとや地域に学び、地域に生き、地域を担い、地域をつくろうとする人びとのための雑誌です」

この創刊の趣旨にあるように、今日の政治や経済は、ゆるぐというよりもはや解体状況じゃないか、と感じている方は多いと思う。そうだからこそ、自分たちの暮らしや地域は、自ら守っていくことを覚悟しなきゃならない時代になったんだ、と思う。そういう眼でこの雑誌を読むと実に多くの示唆と勇気を与えてくれている気がする。

例えば、第2号（10年8月刊）では、「高齢者応援ビジネスみんなでつくる居場所と仕事」を特集していて、千葉県大網白里町の「大里総合管理株式会社」の取り組みが紹介されている。この会社は、不動産事業をメーンにしているが、遊休地の管理のほか学童保育、コミュニティレストラン、農場と農産直売所など多彩な活動に取り組んでいて、35人の社員で130もの地域貢献活動プログラムを実践している、という。社長の野老さんは、地域づくり総務大臣賞を受賞。

また、20年間放置されていた廃校を活用して集落コンビニ、居酒屋、宿泊所という複合施設「森の巣箱」をつくり、集落を元気にした、高知県津野町床鍋集落の実践も実に楽しい。

第3号では「空き家を宝に」、第4号では「廃校をどう生かす？」がそれぞれ特集され、各地域のユニークな取り組みが紹介されている。当事者として、地域の暮らしを考えて行こうとする方には、必読の雑誌だ。

（花信風子）

読者の声

★もっと真剣に

本紙前号の「地震大国に生きる」を読み、考えさせられました。分かっているつもりでも、どこかで災害が起こると、再認識はしますが、すぐ平穏な生活に甘えてしまいます。各自がもっと真剣に取り組み、最悪の場合に追い込まれた時のことを考えるべきです。他人を頼りにせずに……。（神奈川県藤沢市 無職・77歳）

★福祉風呂を！

私たちの息子は11年前に交通事故に遭い、脳幹部損傷により脳死か植物人間と言われました。リハビリのおかげで今は外出できるまでになっています。温泉が好きなのですが、障害者が入れる所は限られております。道の駅に、福祉風呂付きの入浴施設を設置していただけたら有難いと思っています。（愛知県一宮市 無職・66歳）

★自転車の利点

前号13ページの「奈良のレンタサイクル・どこでも乗り捨て」」の記事が目に止まりました。「環境に優しく」という点に魅力を感じます。近ごろは「エコ」が盛んに提唱されていますが、自転車利用を見直すきっかけになる記事でした。車の渋滞が日常化しています。観光目的の人々にも、自転車はメリットがあると思います。（新潟県阿賀野市 会社員・41歳）

★防災チェック

映画「日本沈没」を見ました。日本列島がプレートの動きに引きずられて亀裂が入り、各地で火山が噴火、どんどん沈んでいくのです。怖い映画でしたが、これを見たからといって、防災意識が高まったわけではありませんでした。でも、本紙「防災アンケート」を書いていて、車に防災用品を全く積んでいないことに気付きました。毎月、防災への備えに対するチェックを呼びかけたらどうでしょう。（宮崎県日向市 会社員・46歳）

★商売第一ダメ

旅行が大好きで道の駅をよく利用します。初期には多くの道の駅で観光情報、施設の割引券、各地のイベントを知らせる印刷物など、サービスが豊富でした。しかし、最近の道の駅の方向が、商売第一みたいになり、使命感が薄れているように感じています。印刷物の置き場所さえない所もあり、善処を期待します。（埼玉県鴻巣市 アルバイト・70歳）

★駐車場と人間

災害が発生した時、道の駅の駐車場に車が殺到する恐れがあるのではないでしょうか。車両ではなく、人をどう収容するかという観点から、施設を再点検していただく必要があると思います。食糧やトイレ、災害時の情報発信など、道の駅に期待するものは多々あります。（岩手県釜石市 公務員・49歳）

★自分で備える

私は車の中に、飲料、食料や懐中電灯、毛布などを常備しています。道の駅が飲料・食料を備蓄して、災害時に配給してくだされば嬉しいのですが、やはり運転者は自ら災害に備える必要があります。携帯ラジオや乾電池も常備しており、ウオーキングの時にも持っていきます。非常時にこんなものがあれば便利だなと考えられるものを、車に載せておけば、きっと役に立ちます。（三重県伊賀市 自営業・57歳）

★カフェに感動

前号の「進化するグリーン・ツーリズム」で、沖縄県の「カフェ・NOAH」の記事を読みました。民家を生かし、医食同源をモットーにオープンした上地正子さんの行動に感動しました。こうした取り組みは、国を挙げて推進すべき事業だと思います。カフェが、働く母親のために学童保育を引き受けていることも素敵です。（埼玉県所沢市 公務員・53歳）

古い町並みや釣り船と超高層マンション群が隣り合わせにあり、独特の景観となっている佃島＝東京都中央区・隅田川下流

★差が出てきた

道の駅も数が増えれば、企画や施設、内容などの駅ごとの差が出てきて、期待以上だったりがっかりだったりしています。ひょっとすると、ミシュラン・ガイドのようなランク付けが現われるかもしれませんね。私は、どこの駅も成長していってほしいと願っています。（大阪市 主婦・49歳）

★率先して協力

道の駅が防災に力を入れていることを知りました。私は最寄の道の駅（ようか但馬蔵）には歩いていけるので、なにかあれば率先して協力したいと思います。いつも利用させていただいているので少しでも役に立てば幸いです。（兵庫県養父市 会社員・42歳）

★役に立ちたい

本紙の記事で、道の駅が休憩と土産物の場所だと考えていた私は、大いに反省させられました。防災拠点として有意義な施設だと思います。私はアマチュア無線の資格を持っており、非常通信の訓練にも参加しております。災害時に情報を収集し、発信できる場があれば、積極的に参加したいと思っています。（千葉県大網白里町 無職・60歳）

★地域活性化へ

道の駅が大好きで、北海道内の109カ所は半年強で制覇しました。防災という観点は今回初めて深く考えさせられました。建物があり、食材・食料があり、国道に面しているなど、災害時のキーワードとなる要素をいくつも含んでいるのが道の駅です。今後、さまざまな付加価値を備えることで、防災拠点化がさらに進み、ひいては地域の活性化につながっていくのではないでしょうか。（北海道旭川市 会社員・26歳）

★トイレのこと

道の駅が各地にあるのでとても便利です。ところが、ヨーロッパには、日本の道の駅のように誰でも入れるトイレ付き休憩所はほとんどありません。そのため道沿いのお店に寄り、お金を払ってトイレを使わなければなりません。込み合うので不便でもあります。外国から友人が来たら、あちこちの素晴らしい道の駅を見せて自慢しようと思います。（栃木県小山市 会社員・63歳）

★心に残る言葉

本紙前号の「私の道」を拝見、山野正義さんのお話が印象的でした。改めて有名人の子息としてのご苦労を知りました。「目標が定まれば人間は信じられない力を発揮する」というお言葉が心に残っています。（広島県福山市 会社員・56歳）

◆お便り募集

このコーナーでは、道の駅をはじめ、農家レストランや、道路などに関する読者の皆様のさまざまな声を紹介していきます。

お便りはハガキで〒102-0075 東京都千代田区三番町7―1 朝日三番町プラザ NPO法人 人と道研究会宛てにお寄せください。

また、読者専用のメールBOX（dokusya@route-press21st.jp）を設けました。お便りのほか、写真の投稿も大歓迎です。採用分には記念品をプレゼントします。

おもしろ万葉集

奈良 正

瓜食めば、子ども思ほゆ。栗食めば、ましてしのばゆ。いづくより来たりしものぞ。目交ひに、もとなかかりて、安寝し寝さぬ。

（万葉集・巻五・八〇二番）

瓜を食べると子供たちが思われる。栗を食べるとなおさら偲ばれる。この児らは、どこから来たのか!! 目の前にちらついて、ろくく眠らせてくれないナア。

反歌

銀も、黄金も、玉も、なにせむに。優れる宝 子に如かめやも。（八〇三番）

銀も黄金も玉も、どうして宝といえようか。この世で一番の宝は子供たちだ!! 児に勝る宝があろうか？ありはしない!!

×　×　×

万葉の父は……

長歌――瑞々しく、芳香・甘味のマクワ瓜を食べる、ウ、ウマイ!! アア、この瓜を子供たちに食べさせたい!! 栗を食べた時は、なおさらそう思う。味覚から喚起された愛しい児等・不思議な出会い・そして目先から離れない――父親が子供たちを得た喜びを詠う。

反歌は、物質で最高級品である金銀七宝よりも「我が児」を、絶対の存在と認識し、その価値の不変を堂々と主張する。

味覚・感性で精彩を放つ長歌と深い思惟・知性の反歌は、いずれも父親の感動・歓喜、それへの愛情を十分に表出した"子を愛む歌"である。

作者は、山上憶良。豊かな学識で、家庭・人生・社会を直視して、正直に、飾らず、真実を表現・吐露した稀有の歌人である。

さて、親子は一世。夫婦は二世。子は鎹。それぞれが絆で結ばれる。他と係る基本を示す語句だが、その密度次第で、安心と平和か。または離縁と抗争を呼ぶか。とにかく、対人関係のむつかしい今日、憶良の「ひたむきな心と姿」に心が魅かれる。天真爛漫とか、天衣無縫などの言葉が、去来する……のだ!!

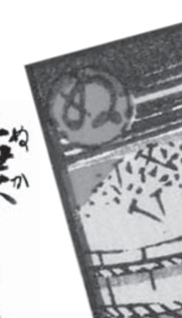
（万葉研究家）

いろは歌留多

京かるた
「糠に釘」

○無意味なことのたとえ。手ごたえがないとか効き目がないことのたとえ。頑固親父が軟弱息子に説教しても効き目がない、という構図のこと。ところで保守と革新、堅いものと柔らかいものがあるようにこの世の中は正反対のものは五万とある、だからといって効き目がないといって放置していてはいけない。話し合い協力し合って共に生きていくのが社会と言うものでしょう。コミュニケーション能力が問われる時代です、より複雑に、高度な社会になったということなのでしょうか…。
「と」の札で、「豆腐に鎹」がありましたね、意味解釈は今回と同じです。

中京かるた
「盗人の昼寝」



糠に釘
手応えや効き目のないたような感じ

盗人の昼寝
悪事をするにも準備が必要

字形の整え方

偏と旁はゆずり会い

糠× 釘×
糠○ 釘○

江戸かるた
「盗人の昼寝」

○盗人が昼寝をするのは夜稼ぐためである。昼寝するおだやかな面と夜の悪行の奇妙な組み合わせの面白さがある。解釈は更に、盗人が昼寝をしている油断を戒めているとか、何気ない振りをしているが目的は他のところにあるので油断してはならない、という意味もある。ところで、人は見かけによらぬとはよく言ったもので、外見ではその中身は理解できないものである。しかしながら世の中、外見で大半は判断してしまうものでもあるようだ。人事の面接では五秒で判定するとか…？ 第一印象の大切さがものをいい、またそれが当たらずも遠からずということか。

大阪かるた
「盗人の昼寝」

（社）全日本書道教育協会 http://www.shokyou.jp/html// 同協会発行「書教」誌より転載

Route Press ルートプレス 21st.

道21世紀新聞
発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会
東京都千代田区三番町7-1　朝日三番町プラザ
Web http://www.route-press21st.jp

災害時の復旧に不屈の活動

頼りになる地域の建設業者

噴火、鳥インフルにも素早い対応

宮崎、鹿児島県境の霧島山系新燃岳（1421㍍）が半世紀ぶりに噴火。宮崎県高原町は避難勧告を出し都城市も厳戒態勢が続く。県内では鳥インフルエンザも発生、殺処分が続く。昨春同県は牛や豚の口蹄疫に苦しんだ。日本は地震、台風、豪雨など自然災害の常襲国。災害防止や復旧の最前線に立つのは、郷土を知悉し愛着を持つ地元の土木建設業者だ。降灰除去、処分した家畜の埋却、消毒……。重機や作業員を抱える地域の業者は、災害時真っ先に現場に入り、その奮闘が国土を守ってきた。だが、公共事業削減で業界は疲弊。業界再生を訴える社団法人全国建設業協会などの話から、捨て身で現場に立つ地元業者の知られざる実態を紹介する。（写真提供　宮崎県）

鳥インフルエンザ感染拡大防止で鶏舎を消毒

口蹄疫の教訓活かす

宮崎

新燃岳噴火の1週間前、同県佐土原町の養鶏場から、宮崎家畜保健衛生所に鶏38羽が死んだと通報があり、県の対策本部は翌日「高病原性ウイルスを検出」と発表。鳥インフルエンザ発生が確認された。

「高病原性」とは感染した鳥の致死率が7割を超える危険な病原のこと。県は養鶏場から半径10㌔圏を移動制限し、鶏の殺処分を開始。その後も県内各地で発生が確認され、殺処分や鶏舎の消毒が続いた。

同県建設業協会の宮崎地区協会や高鍋、西都地区協は、鳥の糞尿の埋却作業や各地区の消毒ポイント設置、消毒マット設置に、24時間体制で従事した。

感染拡大防止対策は手際良かった。昨春、県内で口蹄疫発症の確認以後、官民一体となった拡散防止対策や殺処分、地元業者が担った埋却処分の130日間に渡る体験が、鳥インフル対策で活かされた。

ウイルスを運ぶ宿主は渡り鳥とされ、感染防止は容易ではなく、得体の知れないウイルスの実態解明や防疫対策は遠い先の話。鳥インフルから人の生活を護り、影響を最小に食い止める差し当りの手段は、感染の早期発見と拡散防止、ウイルスの宿主の速やかな除却しかない。

防疫の最終段階は、地場の建設業者の不屈の活動にかかっている。口蹄疫での昼夜を通した消毒作業や屍骸の埋却作業が証明した。それは郷土を愛し、県土を護る熱意の結実であることは疑いない。

平時に自治体と防災対策のコンセンサスを

全国建設業協会や地域に根ざす各都道府県建設業協会の会員企業は、災害時の復旧活動をはじめ、社会貢献活動に取り組んできた。しかし昨春、宮崎県建設業協会は思いもかけぬ地域防災に関わった。同県で発生した口蹄疫だ。

口蹄疫被害で最も処分頭数が多かったのは川南町で16万7571頭、高鍋町で3万261頭、木城町で2万7222頭…など。全国有数の畜産圏域から牛や豚が消えた。

県は発生後すぐ、被害拡大を食い止めようと同県建設業協会に、消毒作業の徹底や防疫作業の応援を要請した。処分された家畜を埋めるにも、穴を掘る重機を持ち、作業員を抱えているのは地元の土木・建設業者だからだ。

同県建設業協会は約4カ月間、会員企業従業員約1万2000人を動員、防疫対策に奔走した。だが、故郷を危機から守ろうと寝食を忘れて重機を駆使し、作業に当ったオペレーターや作業員の活動はあまり知られていない。

作業に当たった協会員は現場で情報交換しながら、手不足の時はワクチン接種や糞尿処理も率先。

「ごめんね！」。あどけない牛や豚の顔。とても正視できなかった。「家族同然の牛や豚が日に日に弱っていく。一刻も早く埋却してあげたかった」。

埋却現場で悪臭とヘドロ糞にまみれ、作業を続けたオペレーターは、畜産農家と家畜の悲惨な現場を目の当たりにし、いたたまれなかったという。

殺処分された牛や豚は深さ5㍍の穴に次々と重機で投入された。その無残な様子は戦争の悲惨さにも匹敵、精神的ダメージを受けた作業員も多い。

口蹄疫の拡大防止作業で学んだ同県建設業協会のボランティアの域を超えた貴重な活動は、今後どうシステム化し、ネットワーク化するかが課題だ。

鳥インフル対策の検証はこれからである。牛や豚の処分と鶏は同じではない。

しかし、昨年の官・民の経験は相当生かされた。全国建設業協会や都道府県建設業協会が、国や都道府県と事前に取り決めた方式に即して迅速に災害に対処することは、時代と国民の要請でもある。

災害防止や復旧の最前線で奮闘し、国土を守り続けるのは郷土愛を支えとして地場の土木・建設業に携わる人々だが、国家財政の逼迫で小泉内閣以来、政権交代後も公共事業費削減や抑制が続く。

そこそこの雨でも川が溢れ斜面崩壊なども増加。時を同じくして業界は疲弊が進む。地方業界が活力を取り戻すことは、国土保全にも重要な課題だ。人の命や家畜の安全、食生活の安全にも、建設業者は頼れる存在なのである。

宮崎県建設業協会の永野征四郎会長は「未曾有の口蹄疫で、建設業者は懸命に被害の拡大防止に努めた。建設業者の社会的義務だと自負するからだ。国や自治体には社会資本の整備など、地域の実情に沿った様々な対策をお願いしたい」と訴える。

爆発・噴火が続く新燃岳

口蹄疫でも重機が重要な役割果たす

投入した大量の重機類

埋却作業に投入した大量の重機は、バックホウ2722台／ダンプ・キャリー1549台／ユニック・アルミトラック252台／タイヤショベル513台／フォークリフト67台／ブルドーザー102台／クレーン36台など。昼夜を問わぬ作業のため、発電機やバルーンライトなども大量に投入された。

県内10地区に設置した消毒ポイントでは、従事した会員企業従業員の多くが24時間態勢で作業。作業車1194台／消毒用動噴128台／照明器具1194台／マット124枚／ポリタンク1625個を用意した。

宮崎県建設業協会
会長
永野 征四郎氏

社団法人 全国建設業協会

【全国建設業協会とは】

土木・建設業界は、全国約2万3000社の建設業者が47都道府県ごとに建設業団体を組織。その地域団体が社団法人全国建設業協会の会員を構成。

地域経済社会を支える基幹産業として雇用の維持をはじめ、河川・道路などの環境保全や災害時の応急復旧活動など、社会貢献活動に取り組む。

すぐれた技術者、技能者の確保や、将来にわたって技術、技能の継承が出来る環境づくりも活動の大きな柱だ。